

2024 年度

I R 室報告書

I R 室 長内 恭子

目 次

I. 教育の成果

1. 学生による授業評価
2. 成績データの確認
3. 成績分布とGPA
4. 昭和学院短期大学生調査
5. 学修時間および学修行動調査
6. ディプロマ・ポリシーと学修成果
7. 学生生活満足度調査【卒業生調査】
8. 進路調査
9. 入学試験の種類と成績及び進路
10. オープンキャンパス参加者
11. 卒業生の就職先に関する調査
12. 短期大学での学びと卒業後の状況に関する調査

II. 学生生活

1. オフィスアワー
2. 休学・留年・退学の要因分析
3. 施設・設備の利用状況
4. 学生食堂

III. 研修

1. FD・SD活動

IV. 公表情報

1. 自己点検評価報告書に必要なデータの収集・確認
2. 大学ポートレートに必要なデータの収集と公表

V. その他

1. 中期計画進捗状況報告資料
2. いちかわ市民アカデミー講座
3. 規程の整備

I. 教育の成果

1. 学生による授業評価(2024年度)

(1) すべての授業のデータ

Office 365 短期大学共有ファイル 授業評価用フォルダー

[授業評価用フォルダー - OneDrive \(sharepoint.com\)](#)

(2) 分析

【設問内容】

- 問1 シラバスに示された学修成果の到達目標や授業のねらいを理解して授業を受けている。
問2 予習・復習・レポート・課題などに、熱意をもって取り組んでいる。
問3 欠席・遅刻などをしないように心掛けている。
問4 授業での教員の説明がわかりやすい（実験実習の方法・手順を含む）。
問5 授業の進め方は適切である。
問6 教科書・プリント等の教材が適切である。
問7 黒板の使い方、文字の大きさ、あるいはICT機器の使用は適切である。
問8 授業に教員の熱意が感じられる。
問9 授業を受けることにより、授業内容に関する分野への関心や問題意識が深まった。
問10 この授業に満足している。

【評価基準】

- [5] そう思う。
[4] どちらかといえばそう思う。
[3] どちらともいえない。
[2] どちらかといえばそう思わない。
[1] そう思わない。

【調査方法】

1. 担当教員が受講生に授業評価アンケート趣旨を説明。
2. 受講生にMicrosoft365 Formsを利用してオンラインにて実施。
3. 受講生は質問項目ごとに評価基準を回答し、その回答理由を任意で記入させる。
4. 回答を送信。
5. FD担当者は回答状況を確認する。

【調査期間】

前期 2024年7月8日～7月29日

後期 2025年1月14日～2月4日

*ただし、8回で授業が終了する科目、集中科目は、授業最終日に実施。

【調査実施率と回収率】

調査実施科目数 231 (237) 科目

実施率 99.6% (100%) 回答率 81.3% (80.02%)

(回答者総数 7,155 点 (7,295 点)、履修者総数 7,155 人 (9,116 人))

*履修者総数に調査日欠席者、履修取りやめた者を含む。

*()内の数字は昨年度のもの。

【授業評価結果】（詳細は HP 参照）

科目ごとの授業評価結果を学科・専攻別、科目形態別、区分別、短大全体の集計を行った。

【前期集計結果】

			問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10
全体	平均		4.55	4.58	4.74	4.45	4.47	4.52	4.50	4.61	4.50	4.48
	標準偏差		0.33	0.28	0.16	0.53	0.49	0.46	0.46	0.39	0.42	0.49
学科専攻	創造	平均	4.65	4.65	4.76	4.67	4.66	4.69	4.67	4.73	4.65	4.65
		標準偏差	0.27	0.31	0.19	0.33	0.32	0.29	0.28	0.30	0.33	0.33
	発達	平均	4.52	4.61	4.74	4.49	4.47	4.53	4.52	4.58	4.52	4.48
		標準偏差	0.40	0.21	0.10	0.61	0.61	0.52	0.57	0.54	0.50	0.57
	栄養	平均	4.46	4.51	4.70	4.18	4.26	4.31	4.30	4.51	4.34	4.27
		標準偏差	0.21	0.16	0.11	0.51	0.48	0.52	0.46	0.27	0.34	0.49
	合同	平均	4.43	4.50	4.73	4.28	4.38	4.46	4.43	4.52	4.37	4.38
		標準偏差	0.49	0.53	0.25	0.52	0.44	0.38	0.38	0.33	0.48	0.51
授業形態	講義	平均	4.42	4.48	4.69	4.21	4.26	4.32	4.33	4.46	4.32	4.25
		標準偏差	0.32	0.28	0.15	0.55	0.53	0.50	0.50	0.40	0.42	0.52
	演習	平均	4.64	4.67	4.78	4.64	4.63	4.68	4.65	4.72	4.64	4.64
		標準偏差	0.35	0.29	0.15	0.45	0.44	0.40	0.42	0.38	0.41	0.43
	実験/実習	平均	4.57	4.56	4.70	4.39	4.46	4.45	4.42	4.59	4.48	4.48
		標準偏差	0.18	0.13	0.17	0.40	0.27	0.32	0.27	0.28	0.25	0.33
	併用	平均	4.72	4.72	4.80	4.79	4.78	4.81	4.74	4.85	4.74	4.80
		標準偏差	0.15	0.16	0.10	0.13	0.12	0.13	0.15	0.06	0.11	0.14
科目区分	教養	平均	4.54	4.56	4.72	4.51	4.57	4.60	4.58	4.67	4.54	4.55
		標準偏差	0.36	0.37	0.18	0.45	0.35	0.30	0.30	0.27	0.38	0.40
	専門	平均	4.55	4.57	4.73	4.46	4.47	4.53	4.51	4.60	4.50	4.48
		標準偏差	0.33	0.26	0.15	0.51	0.48	0.43	0.45	0.42	0.42	0.48
	教職	平均	4.55	4.76	4.86	4.19	4.22	4.20	4.24	4.58	4.47	4.20
		標準偏差	0.25	0.20	0.10	0.74	0.73	0.85	0.75	0.31	0.47	0.73

※基礎科目・専門基礎科目は専門科目に含む

【後期集計結果】

			問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10
全体	平均		4.63	4.64	4.70	4.58	4.59	4.59	4.59	4.69	4.62	4.59
	標準偏差		0.22	0.25	0.21	0.31	0.31	0.28	0.27	0.23	0.27	0.28
学科専攻	創造	平均	4.66	4.59	4.68	4.67	4.65	4.67	4.66	4.73	4.65	4.64
		標準偏差	0.26	0.36	0.26	0.26	0.30	0.23	0.23	0.17	0.26	0.27
	発達	平均	4.59	4.65	4.66	4.63	4.62	4.62	4.62	4.69	4.66	4.60
		標準偏差	0.20	0.19	0.19	0.27	0.27	0.28	0.24	0.25	0.21	0.24
	栄養	平均	4.61	4.65	4.74	4.43	4.46	4.47	4.47	4.62	4.51	4.50
		標準偏差	0.18	0.17	0.15	0.34	0.31	0.29	0.30	0.25	0.29	0.31
	合同	平均	4.71	4.66	4.76	4.61	4.66	4.71	4.62	4.78	4.69	4.70
		標準偏差	0.26	0.24	0.19	0.35	0.27	0.21	0.33	0.22	0.30	0.28
授業形態	講義	平均	4.65	4.64	4.71	4.56	4.57	4.58	4.58	4.67	4.62	4.60
		標準偏差	0.22	0.22	0.22	0.35	0.34	0.34	0.31	0.28	0.30	0.32
	演習	平均	4.60	4.64	4.67	4.63	4.61	4.62	4.61	4.71	4.62	4.60
		標準偏差	0.24	0.30	0.22	0.28	0.31	0.25	0.26	0.21	0.26	0.27
	実験/実習	平均	4.64	4.65	4.75	4.44	4.50	4.48	4.47	4.64	4.53	4.48
		標準偏差	0.14	0.13	0.14	0.25	0.19	0.19	0.17	0.13	0.17	0.19
	併用	平均	4.67	4.59	4.74	4.63	4.68	4.68	4.67	4.73	4.69	4.66
		標準偏差	0.17	0.18	0.10	0.28	0.20	0.18	0.19	0.17	0.22	0.24
科目区分	教養	平均	4.61	4.62	4.69	4.62	4.64	4.67	4.64	4.72	4.67	4.66
		標準偏差	0.19	0.19	0.21	0.25	0.20	0.18	0.24	0.19	0.24	0.20
	専門	平均	4.60	4.61	4.68	4.56	4.56	4.56	4.56	4.66	4.58	4.56
		標準偏差	0.21	0.26	0.20	0.31	0.31	0.28	0.27	0.23	0.26	0.28
	教職	平均	4.86	4.86	4.90	4.75	4.78	4.77	4.72	4.86	4.85	4.80
		標準偏差	0.19	0.15	0.15	0.33	0.29	0.29	0.33	0.17	0.17	0.24

※基礎科目・専門基礎科目は専門科目に含む

【前後期集計結果】

		問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	
全体	平均	4.59	4.61	4.72	4.53	4.54	4.56	4.55	4.66	4.57	4.54	
	標準偏差	0.28	0.27	0.19	0.42	0.40	0.37	0.37	0.31	0.34	0.39	
学科専攻	創造	平均	4.66	4.62	4.72	4.67	4.66	4.68	4.66	4.73	4.65	4.65
		標準偏差	0.26	0.34	0.23	0.30	0.31	0.26	0.25	0.24	0.29	0.30
	発達	平均	4.56	4.64	4.69	4.58	4.56	4.58	4.58	4.65	4.61	4.55
		標準偏差	0.30	0.20	0.17	0.44	0.44	0.39	0.40	0.39	0.36	0.40
	栄養	平均	4.55	4.59	4.73	4.33	4.38	4.40	4.40	4.58	4.44	4.41
		標準偏差	0.21	0.18	0.14	0.44	0.40	0.41	0.38	0.26	0.32	0.41
	合同	平均	4.58	4.59	4.75	4.46	4.54	4.60	4.54	4.66	4.55	4.56
		標準偏差	0.40	0.40	0.22	0.47	0.38	0.32	0.36	0.30	0.42	0.43
授業形態	講義	平均	4.54	4.57	4.70	4.40	4.43	4.46	4.46	4.58	4.49	4.44
		標準偏差	0.30	0.26	0.19	0.49	0.47	0.44	0.43	0.36	0.39	0.46
	演習	平均	4.62	4.65	4.71	4.63	4.62	4.65	4.63	4.71	4.63	4.61
		標準偏差	0.29	0.30	0.20	0.36	0.36	0.32	0.33	0.29	0.32	0.34
	実験／実習	平均	4.61	4.62	4.73	4.42	4.49	4.47	4.45	4.62	4.51	4.48
		標準偏差	0.16	0.14	0.15	0.31	0.22	0.24	0.21	0.20	0.20	0.25
	併用	平均	4.69	4.66	4.77	4.72	4.73	4.75	4.70	4.80	4.72	4.73
		標準偏差	0.16	0.18	0.11	0.23	0.17	0.17	0.17	0.14	0.17	0.20
科目区分	教養	平均	4.58	4.59	4.71	4.56	4.60	4.63	4.61	4.70	4.60	4.60
		標準偏差	0.29	0.30	0.19	0.38	0.29	0.25	0.27	0.24	0.32	0.32
	専門	平均	4.58	4.60	4.70	4.52	4.52	4.55	4.54	4.64	4.55	4.53
		標準偏差	0.27	0.26	0.19	0.41	0.39	0.35	0.35	0.32	0.34	0.38
	教職	平均	4.75	4.82	4.88	4.54	4.58	4.56	4.54	4.76	4.71	4.58
		標準偏差	0.26	0.18	0.14	0.59	0.57	0.63	0.57	0.27	0.37	0.56

※基礎科目・専門基礎科目は専門科目に含む

【学科・専攻別平均値年度別推移】

学科・専攻	平均値				
	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
キャリア創造専攻	4.67 (標準偏差 0.25)	4.71 (標準偏差 0.20)	4.60 (標準偏差 0.31)	4.59 (標準偏差 0.29)	4.47 (標準偏差 0.34)
こども発達専攻	4.60 (標準偏差 0.32)	4.51 (標準偏差 0.45)	4.60 (標準偏差 0.26)	4.64 (標準偏差 0.26)	4.52 (標準偏差 0.26)
ヘルスケア栄養学科	4.48 (標準偏差 0.29)	4.54 (標準偏差 0.32)	4.47 (標準偏差 0.27)	4.43 (標準偏差 0.30)	4.44 (標準偏差 0.33)
合同授業	4.58 (標準偏差 0.36)	4.62 (標準偏差 0.18)	4.58 (標準偏差 0.24)	4.43 (標準偏差 0.34)	4.51 (標準偏差 0.26)
短大全体の平均	4.59 (標準偏差 0.30)	4.59 (標準偏差 0.35)	4.56 (標準偏差 0.28)	4.55 (標準偏差 0.30)	4.51 (標準偏差 0.32)

	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
最大値	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
最小値	2.99	1.38	3.00	3.00	3.00

【分 析】

過去5年間大変高い平均値が続いている。2023年度は最低点が1.38の科目があり、改善を試みた結果2024年度は概ね3.0と例年並みとなった。こども発達専攻は2023年度に平均値がやや下がり、標準偏差が大きくなったが、2024年度は回復した。

短大全体の授業評価の平均値は徐々に上がり、全体としてはFD活動の成果が現れている。

【活 用】

授業評価の目的は、結果を授業内容・方法の改善に役立て、教育の質と学生の満足度を向上させることである。各授業評価結果をMicrosoft365上に公開し、教員相互に評価結果の閲覧を可能にしているとともに、年度末には学科・専攻ごとの評価結果の分析を行い、平均値、標準偏差を出すことで科目の形態、区分ごとの結果を相対的に評価できるようにしている。

また、専任教員は、ティーチングポートフォリオにこの授業評価結果を取り入れ、各々科目ごとにPDCAの手法に基づいて、授業改善に役立てている。

学長は教員の業績評価の資料のひとつに用いている。

さらに、授業評価の結果に基づいて教員の教育優秀賞の表彰に活用したことにより学生の授業評価に対する意識も変わり真摯な姿勢も感じられるようになった。

(3)教育優秀賞の表彰(2024年10月26日)

2023年度授業評価結果に基づく

川田 江美 教授(人間生活学科キャリア創造専攻)

【演習・実習・実技・実験科目】 イベントプロデュース 回答者数 14名 得点 49.29

阿久津 毅 教授(人間生活学科キャリア創造専攻)

【演習・実習・実技・実験科目】 コンピュータ基礎演習A 回答者数 39名 得点 49.00

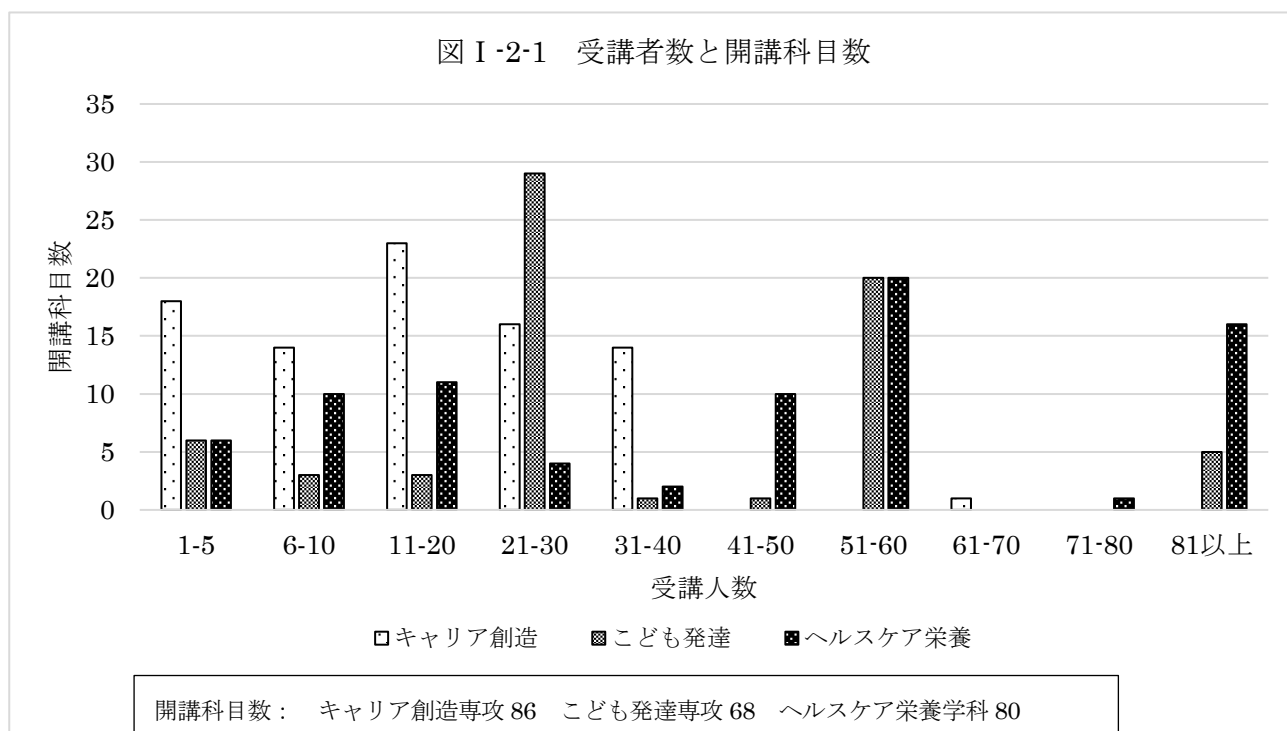
2. 成績データの確認

(1) 履修者名簿と成績：教務システム

(2) 成績評価内訳表分析(2024 年度)

①開講科目数と受講者数

人間生活学科キャリア創造専攻、こども発達専攻及びヘルスケア栄養学科の入学定員は、それぞれ 30 名、60 名、80 名である。キャリア創造専攻は定員に対して開講科目数が 86 科目と最も多く、必修科目が少なく、多彩な科目展開であることから受講生数が少ない。受講生が 5 名以下の科目が増えているので、検討したい。こども発達専攻とヘルスケア栄養学科では必修の授業が中心となっている。いずれも 2024 年度入学生が定員割れを生じたため、従来よりも受講生数が少ない。

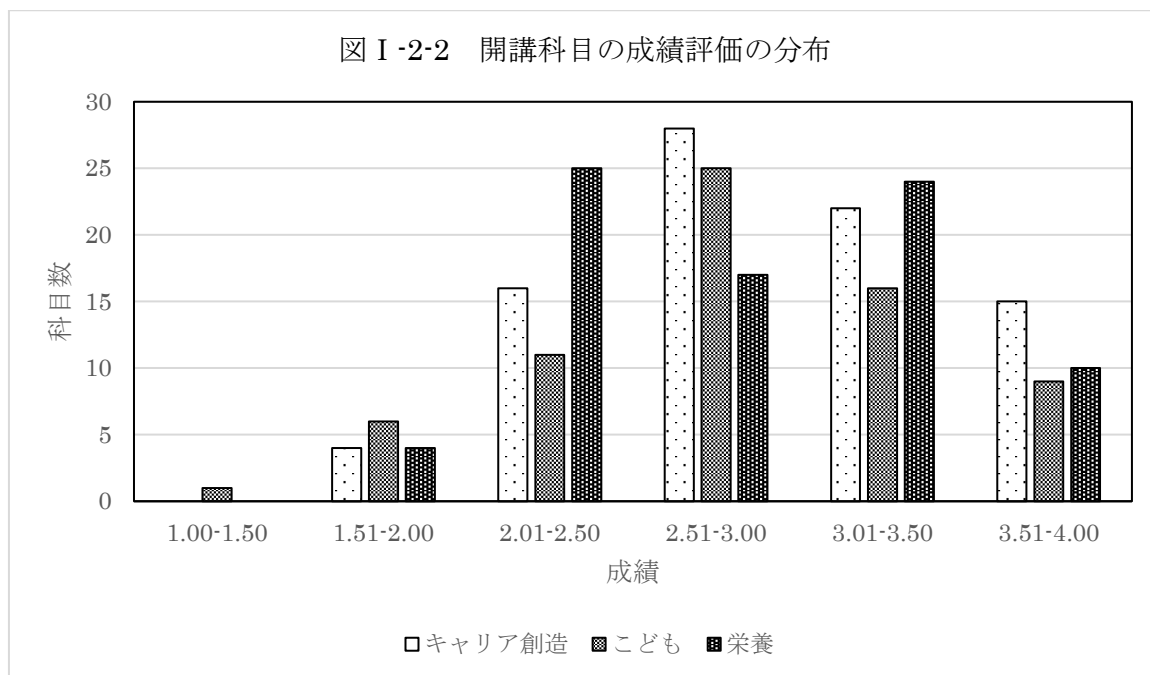


②成績評価の分布

図 I-2-2 に開講科目の成績評価の分布を示した。キャリア創造専攻の成績はバラつきが大きく、2-4 に同等の分布がある。それに対して、こども発達専攻とヘルスケア栄養学科では 2.50—3.00 の科目が最も多く、次いで 3.01—3.50 または 3.51—4.00 の科目が多い。評価が低い科目も高い科目もあるが、キャリア創造専攻は 3.5 以上の高い評価が多い傾向にある。本学は社会的通用性の高い資格教育を行っており、社会に役立つ人材育成の観点から、ディプロマ・ポリシーとアセスメントポリシーに照らして、評価基準は妥当と思われる。教養科目で本学学生が不得意とする領域の科目は評価が低い傾向にあり、専門科目で、各自に完成度が求められるような演習、実習科目では評価が高い。

S : 4.00 A : 3.00 B : 2.00 C : 1.00 D : 0 F : 0 とした。

図 I-2-2 開講科目の成績評価の分布



学科・専攻別に成績評価の平均値と標準偏差を表 I-2-1 に示した。これまで、平均値はヘルスケア栄養学科でやや低く、キャリア創造専攻で高い傾向にあったが、2024 年度は学科・専攻間での差が有意になかった。

成績優秀者を選ぶときには学科・専攻単位であることが多く、全学で選考する場合は、生活クリエーション専攻、こども発達専攻、ヘルスケア栄養学科の定員が 30, 60, 80 名であることから、優秀な学生については学科・専攻に偏ることなく選考ができています。

表 I-2-1 学科・専攻の成績評価の平均値

学科・専攻	2021 年度		2022 年度		2023 年度		2024 年度	
	GPA 平均値	標準偏差	GPA 平均値	標準偏差	GPA 平均値	標準偏差	GPA 平均値	標準偏差
生活クリエーション キャリア創造専攻	3.01	0.64	3.10	0.53	2.87	0.61	2.92	0.60
こども発達専攻	2.85	0.62	2.85	0.66	2.82	0.66	2.82	0.60
ヘルスケア栄養学科	2.74	0.57	2.71	0.71	2.74	0.71	2.83	0.57

同一科目を複数の教員が担当する場合はルーブリック評価の基準を共有し、成績評価についても共通理解と確認作業が必要である。科目担当者間で行っている。(別紙)

科目別成績内訳表別紙

授業別成績内訳表別紙

3. 成績分布とGPA

2024年度通算 GPA 分布図と平均値標準偏差等の表を学科・専攻別に示した。

キャリア創造専攻の GPA 平均値は1年生が 2.95、2年生が 2.90 と、高かった。

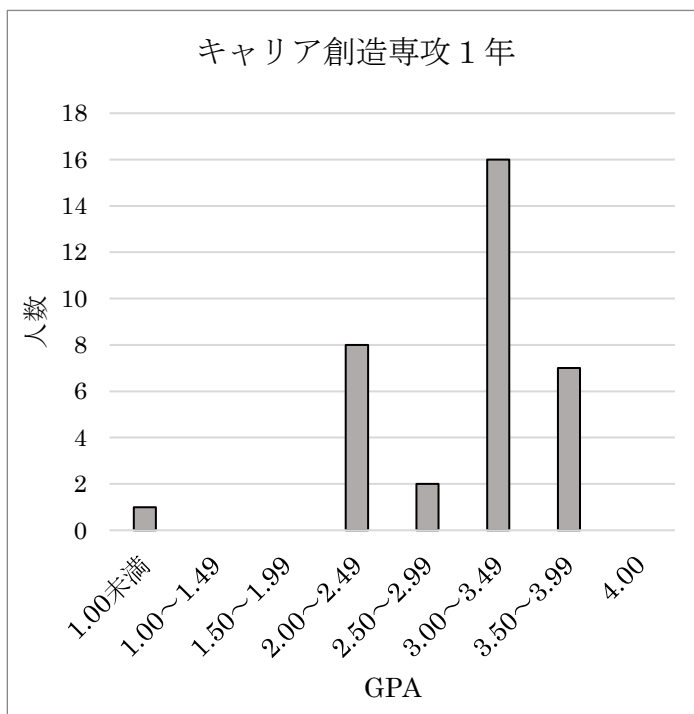
こども発達専攻は1年生が 2.99 と極めて高く、2年は 2.88 だった。

ヘルスケア栄養学科は1年生が 2.63、2年生が 2.77 とこれまでの本学の一般的な傾向を示し、分布図も正規分布に近かった。

2024年度通算 GPA 分布図(人間生活学科キャリア創造専攻1年)

学生数	34
GPA 平均値	2.95
標準偏差	0.67
下位4分の1のGPA	2.32以下
下位4分の1の人数	9
1.00未満退学勧告	1名

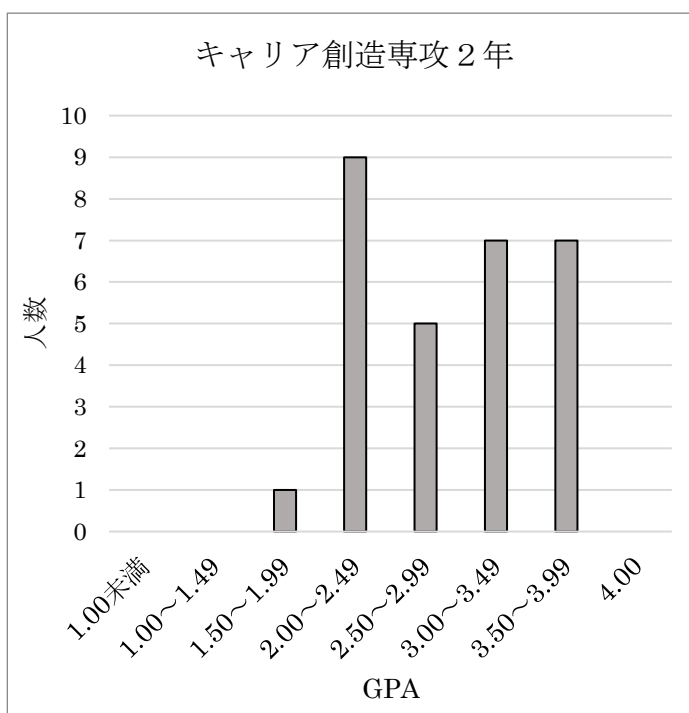
GPA	割合 (%)
1.00未満	2.9
1.00~1.49	0.0
1.50~1.99	0.0
2.00~2.49	23.5
2.50~2.99	5.9
3.00~3.49	47.1
3.50~3.99	20.6
4.00	0.0



2024 年度通算 GPA 分布図(人間生活学科キャリア創造専攻 2 年)

学生数	29
GPA 平均値	2.90
標準偏差	0.65
下位 4 分の 1 の GPA	2.29 以下
下位 4 分の 1 の人数	8
1.00 未満退学勧告	0 名

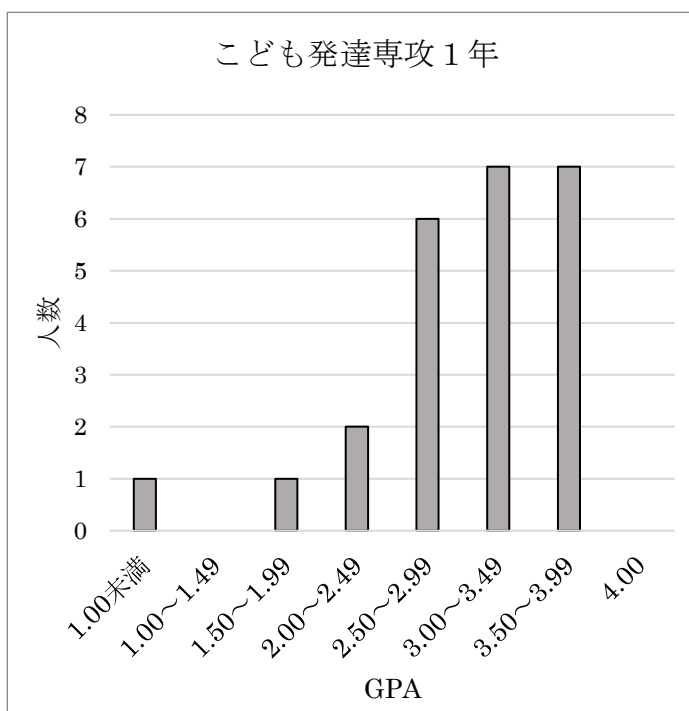
GPA	割合 (%)
1.00 未満	0.0
1.00~1.49	0.0
1.50~1.99	3.4
2.00~2.49	31.0
2.50~2.99	17.2
3.00~3.49	24.1
3.50~3.99	24.1
4.00	0.0



2024 年度通算 GPA 分布図(人間生活学科こども発達専攻 1 年)

学生数	24
GPA 平均値	2.99
標準偏差	0.72
下位 4 分の 1 の GPA	2.61 以下
下位 4 分の 1 の人数	6
1.00 未満退学勧告	1 名

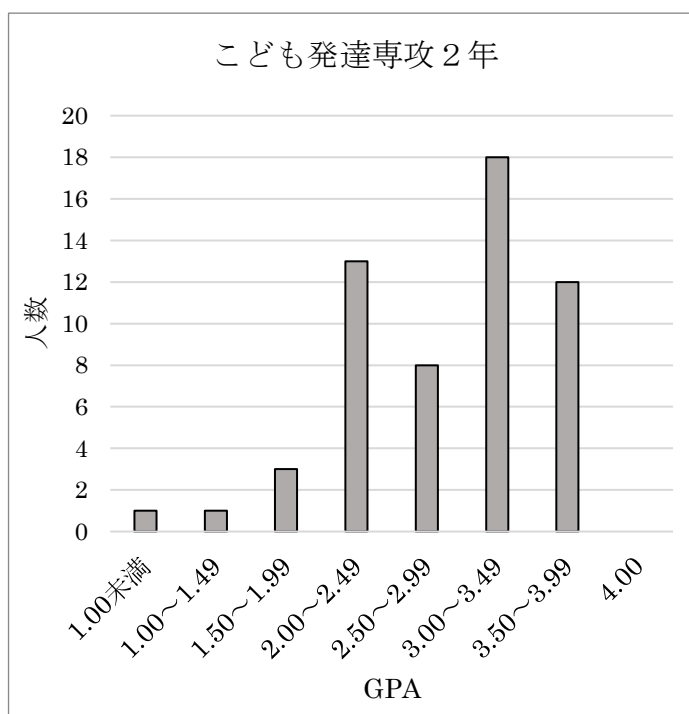
GPA	割合 (%)
1.00 未満	4.2
1.00~1.49	0.0
1.50~1.99	4.2
2.00~2.49	8.3
2.50~2.99	25.0
3.00~3.49	29.2
3.50~3.99	29.2
4.00	0.0



2024 年度通算 GPA 分布図(人間生活学科こども発達専攻 2 年)

学生数	56
GPA 平均値	2.88
標準偏差	0.67
下位 4 分の 1 の GPA	2.33 以下
下位 4 分の 1 の人数	14
1.00 未満退学勧告	1 名

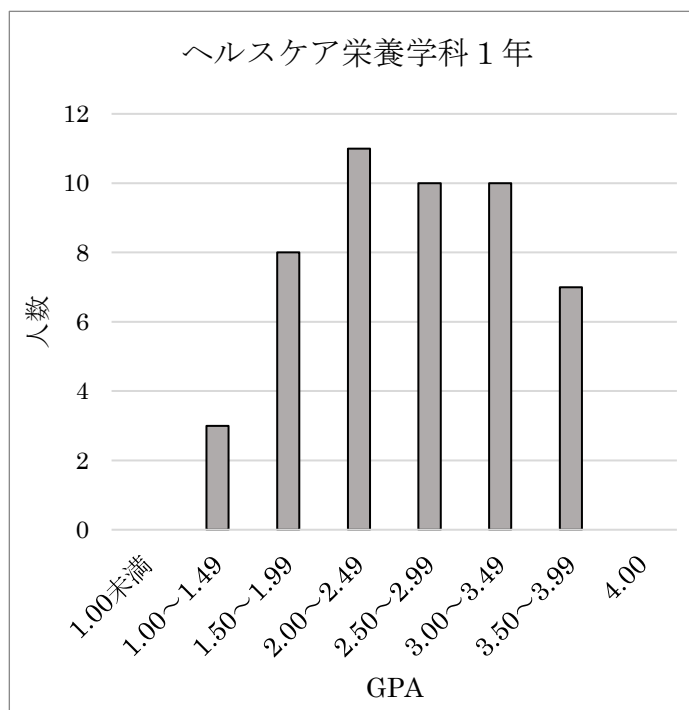
GPA	割合 (%)
1.00 未満	1.8
1.00~1.49	1.8
1.50~1.99	5.4
2.00~2.49	23.2
2.50~2.99	14.3
3.00~3.49	32.1
3.50~3.99	21.4
4.00	0.0



2024 年度通算 GPA 分布図 (ヘルスケア栄養学科 1 年)

学生数	49
GPA 平均値	2.63
標準偏差	0.73
下位 4 分の 1 の GPA	2.04 以下
下位 4 分の 1 の人数	13
1.00 未満退学勧告	0 名

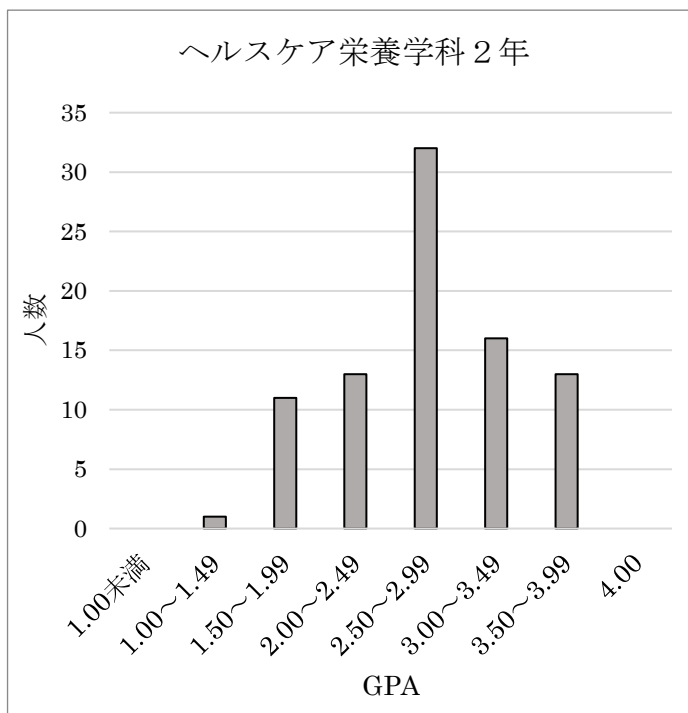
GPA	割合 (%)
1.00 未満	0.0
1.00~1.49	6.1
1.50~1.99	16.3
2.00~2.49	22.4
2.50~2.99	20.4
3.00~3.49	20.4
3.50~3.99	14.3
4.00	0.0



2024 年度通算 GPA 分布図 (ヘルスケア栄養学科 2 年)

学生数	86
GPA 平均値	2.77
標準偏差	0.64
下位 4 分の 1 の GPA	2.35 以下
下位 4 分の 1 の人数	22
1.00 未満退学勧告	0 名

GPA	割合 (%)
1.00 未満	0.0
1.00~1.49	1.2
1.50~1.99	12.8
2.00~2.49	15.1
2.50~2.99	37.2
3.00~3.49	18.6
3.50~3.99	15.1
4.00	0.0



<備考> 学生数：年度末時点の在学者数（休学者を除く）とする。

下位 4 分の 1 の人数：在学者数を 4 で除し、小数点以下は切り上げる。

4. 昭和学院短期大学生調査

(1) 調査目的

本学学生の学生生活に対する意識を把握し、今後のよりよい学生生活指導・支援を模索する資料とする。学生の率直な思いや考えを確認し、学生が望む本学における学生生活や教育を知るてがかりとする。

(2) 調査対象

本学に在籍する 1、2 年生

(3) 調査日

2024 年 7 月～8 月

(4) 回答者総数

259 名（回答率：89%、在籍者数 290 名）

		キャリア創造 専攻	こども発達専攻	ヘルスケア 栄養学科	全学
回答者	1 年	30	25	44	99
	2 年	29	54	77	160
	合計	59	79	121	259
在籍者	1 年	38	29	50	117
	2 年	29	56	88	173
	合計	67	85	138	290
回収率 (%)	1 年	78.9	86.2	88.0	84.6
	2 年	100.0	98.2	87.5	92.5
	合計	88.1	92.9	87.7	89.3

(5) 結果

別紙：「学生生活に関する調査報告書」（教授会 2024 年 10 月 2 日）

[短期大学生調査 \(showagakuin.ac.jp\)](http://showagakuin.ac.jp)

(6) 分析

①通学時間

およそ 4 割強の学生が 60 分未満、4 割の学生が 90 分未満。約 7 割が自宅から通学できることを重視している。地域密着型短期大学である。

②本学を選んだ理由

- ・自宅から通学ができる、自分の興味ある専門分野がある、就職に必要な資格が取れる、4 年制大学より学費がかからない、理由が多い。
- ・次に家族、高校の先生のすすめ、入学決定時期、四年制より早く就職ができる 奨学金など経済的サポート

③進学に際しての重視事項

教員の雰囲気、キャンパスの雰囲気、オープンキャンパスの印象、在学生の雰囲気が上位。

④受講した授業

- ・体験的な授業、宿題や課題、定期的な小テスト、キャリアに関する教育、学生同士でディスカッションをする、教員が提出物に添削やコメントする、プレゼンテーションをする等がよくあった、時々あった。

・パソコンなどの情報機器を使う、レポートの書き方や文章表現を学ぶ、ことがよくあった、時々あった。

⑤先生との間で

・進路に関する相談と授業や学習内容に関する相談がよくあった、時々あったと回答する学生が多い。

⑥本学の施設・設備

・専門科目の授業、図書館、進路や就職の相談、教室の満足度が高い。

・LAN 設備を更新したため、PC やインターネット環境の満足度があがった。

⑦本学の教育に対する満足度

・専門科目、資格取得に関する支援やアドバイス将来のキャリアと授業内容の関係性等の満足度が高い。

・やや不満、不満の割合はいずれの項目も極めて低い。

・サークルと部活についての満足度が一番低い。

⑧本学で身についた能力や知識

・ほとんどすべての学生は選択肢に挙げられた能力や知識は増えたと感じている。

・特に増えたと回答されたものは専門分野や学科の知識、他の人と協力する力、文章(レポートなど)を書く力、一般的な教養、異なる文化や考えを持つ人を理解する力であった。

・増えたとの回答が変わっていないとの回答と同程度であった能力がリーダーシップであった。

⑨本学で向上した能力・知識

・向上したと感じている能力は、PC などの情報機器を使う力、自己理解、コミュニケーション力であった。

・変わっていないとの回答が多かったものは外国語を使う力、地域社会に貢献する力であった。

⑩本学の総合評価

・先生、他の学生が親しみやすい、短大の学びに教務がある、学生生活が充実している、本学を友人や家族に勧められるに高い評価があった。

以上①～⑩についてはほぼ例年通りの結果であった。

5. 学習時間および学修行動調査

(1) 調査目的

本学の学生の学修状況について、予習・復習・宿題およびこれ以外の自主的な学修時間について調査した。(2024年10月2日教授会報告)

(2) 調査対象

本学に在籍する1、2年生

(3) 調査日

2024年7月～9月

(4) 回答者総数

251名(回答率:86.6%、在籍者数290名)

		キャリア創造/ 生活クリエイシ ョン専攻	こども発達専攻	ヘルスケア 栄養学科	全学
回答者	1年	31	23	46	100
	2年	29	50	72	151
	合計	60	73	118	251
在籍者	1年	38	29	50	117
	2年	29	56	88	173
	合計	67	85	138	290
回収率(%)	1年	81.6	79.3	92.0	91.6
	2年	100.0	89.3	90.8	81.8
	合計	89.6	86.0	94.4	86.6

(5) 結果

別紙:「短期大学生調査(学習について)報告書」

<https://www.showagakuin.ac.jp/web/wp-content/uploads/2023/10/4b3d28c8cdd2974b47889dc2ef5f03fb.pdf>

(6) 分析

①1週間の授業時間

およそ25%の学生が11-15時間、または21-25時間授業を受けている。昨年度よりやや減少した。平均として90分授業が2~3個毎日あることになり、短期大学生はよく勉強しているという評価に値する。

②授業に関する学習(予習、復習、宿題)

およそ60%の学生が1~5時間と回答している。30%の学生は6時間以上とほぼ例年通りである。

③授業に関係ない自主的な学習に費やした1週間の時間

約50%の学生が0時間と回答している。約40%の学生が1~5時間と回答している。

④他大学との比較

他大学の学生より勉学をしている。

⑤アルバイトや仕事

およそ8割の学生がアルバイトや仕事をしている。

②から⑤についてもほぼ例年通りである。

6. ディプロマ・ポリシーと学修成果

本学におけるディプロマ・ポリシーに基づく学修成果項目は、全学共通で6項目ある。その6項目とは「社会人基礎スキル」「専門的知識・技術」「思考力」「コミュニケーション力」「実践力」「向上心・責任感」である。そして、各学科・専攻のカリキュラムマップが示すように、各授業科目で身につけるべき項目に極端な偏りはない。

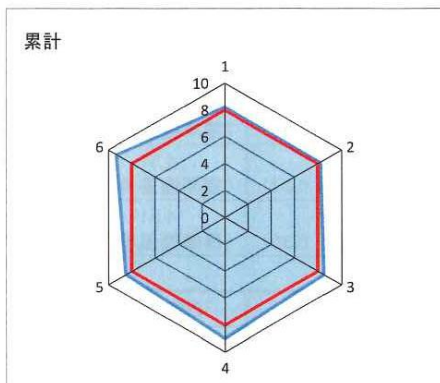
また、本学では、担当した科目の教員が、学生に対して学修成果項目がどれくらい身についたかを評価すると同時に、学生自身がどれくらい身についたと感じているか、自己評価も行っている。学生は受講した科目の成績結果を知ると同時に、6つの要素がどれくらい身についたか振り返る。

学修成果は成績証明書と並んで卒業証明書に記載して発行できるようになっている。

2024年度人間生活学科キャリア創造専攻学修成果評価結果（教員評価）

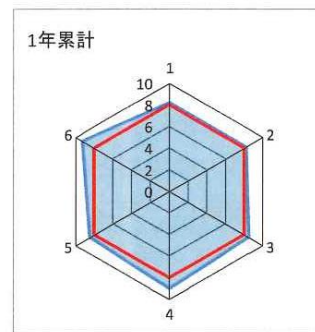
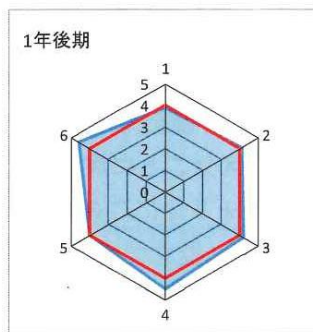
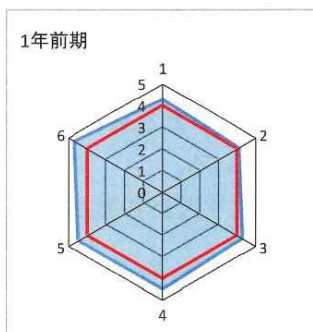
2024年度 学修成果評価結果（教員評価）

人間生活学科キャリア創造専攻1年



	観点1	観点2	観点3	観点4	観点5	観点6
1年前期	4.3	4.1	4.3	4.5	4.5	4.7
1年後期	3.9	4.1	4.2	4.5	4	4.6
1年累計	8.2	8.2	8.5	9	8.5	9.3
2年前期						
2年後期						
2年累計	0	0	0	0	0	0
累計	8.2	8.2	8.5	9	8.5	9.3

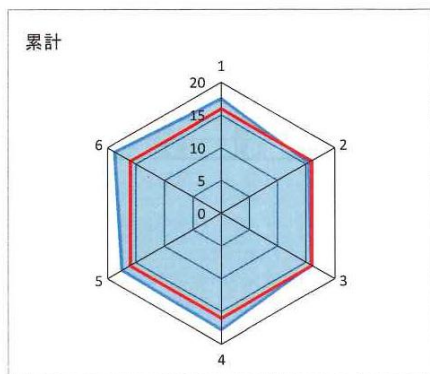
【観点】		
1. 社会人的基礎スキル	2. 専門的知識・技術	3. 思考力
4. コミュニケーション	5. 実践力	6. 向上心・責任感



1

年生は、6項目のうちすべて到達目標に達している。その中でもコミュニケーション力は特に高かった。

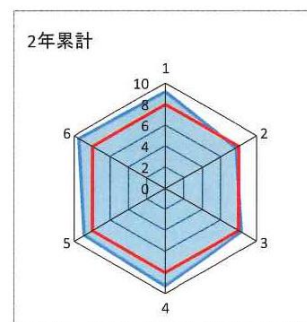
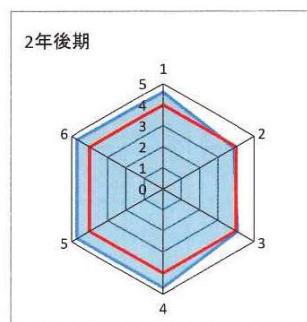
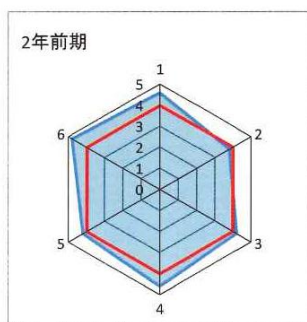
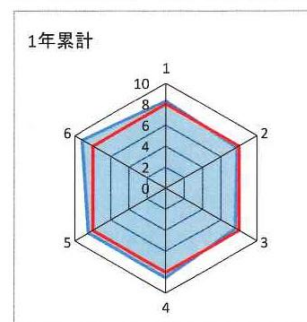
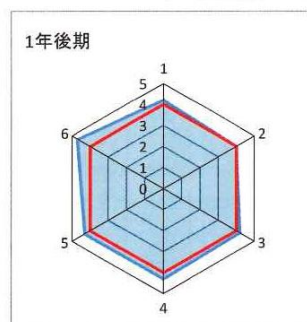
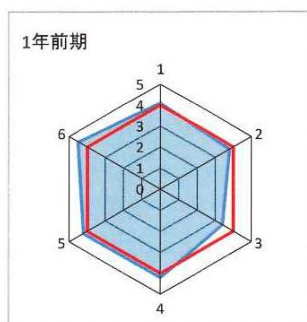
人間生活学科キャリア創造専攻2年



	観点1	観点2	観点3	観点4	観点5	観点6
1年前期	4.1	3.8	3.4	4.2	4.2	4.5
1年後期	4.2	4	4.2	4.3	4.3	4.7
1年累計	8.3	7.8	7.6	8.5	8.5	9.2
2年前期	4.6	3.8	4.2	4.6	4.2	4.8
2年後期	4.6	3.9	4.1	4.7	4.7	4.7
2年累計	9.2	7.7	8.3	9.3	8.9	9.5
累計	17.5	15.5	15.9	17.8	17.4	18.7

【観点】

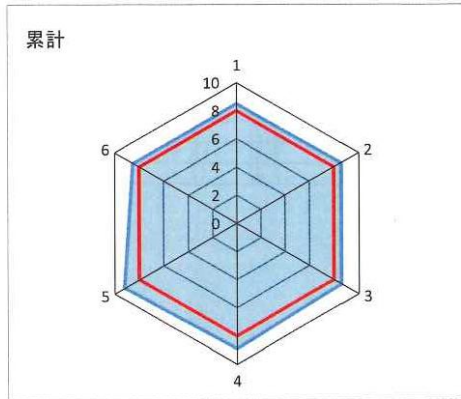
1. 社会人的基礎スキル 2. 専門的知識・技術 3. 思考力
4. コミュニケーション 5. 実践力 6. 向上心・責任感



2年は専門的知識・技術の到達点が目標値にわずかに達していないが、向上心・責任感は到達点が高い。2年時の累計として専門的知識・技術と思考力は到達目標ぎりぎりであるが、それ以外の観点においては例年以上に高い到達度を示している。

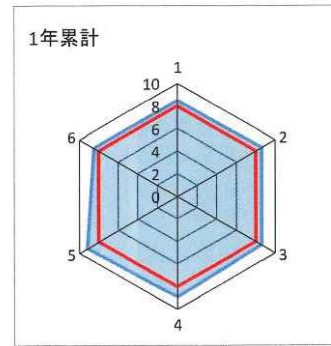
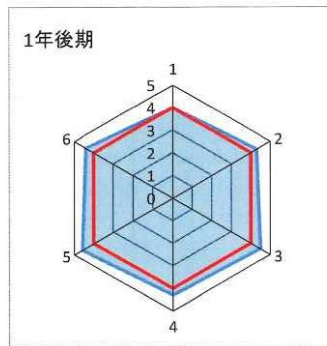
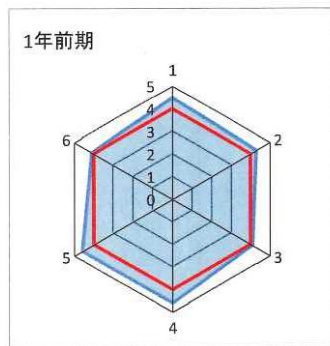
2024 年度人間生活学科こども発達専攻学修成果評価結果（教員評価）

人間生活学科こども発達専攻1年



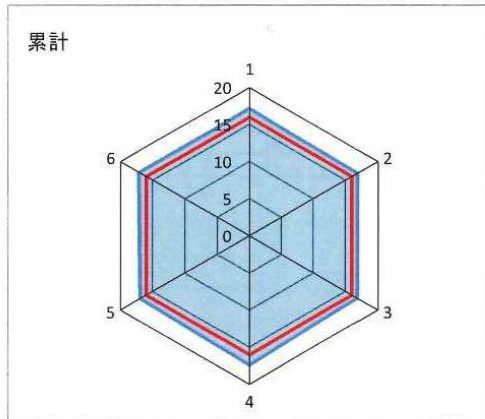
	観点1	観点2	観点3	観点4	観点5	観点6
1年前期	4.5	4.3	4.1	4.6	4.6	4.1
1年後期	4	4.3	4.5	4.3	4.6	4.4
1年累計	8.5	8.6	8.6	8.9	9.2	8.5
2年前期						
2年後期	0	0	0	0	0	0
2年累計						
累計	8.5	8.6	8.6	8.9	9.2	8.5

【観点】
 1. 社会人的基礎スキル 2. 専門的知識・技術 3. 思考力
 4. コミュニケーション 5. 実践力 6. 向上心・責任感



1年生は、累計では1.社会人基礎スキル、2.専門的知識・技術、3.思考力、4.コミュニケーション、5.実践力、6.向上心・責任感の6項目の全てに関して8以上を示し、到達目標に達している。バランスの良い獲得をしている。

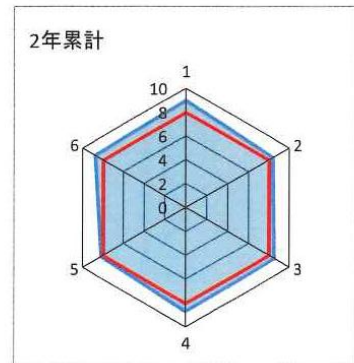
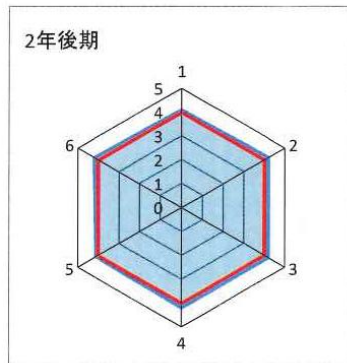
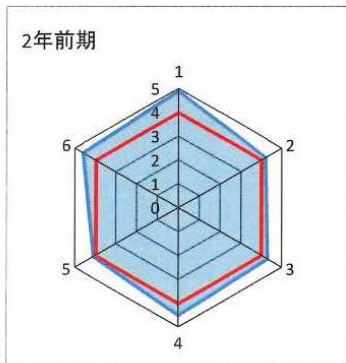
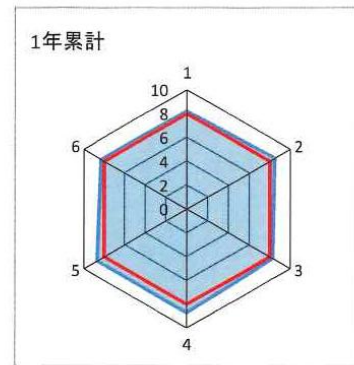
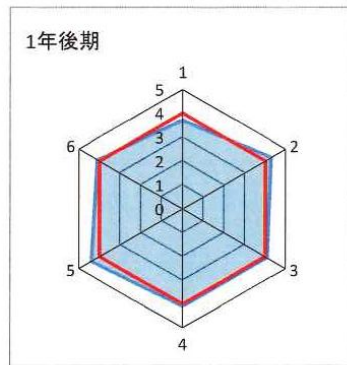
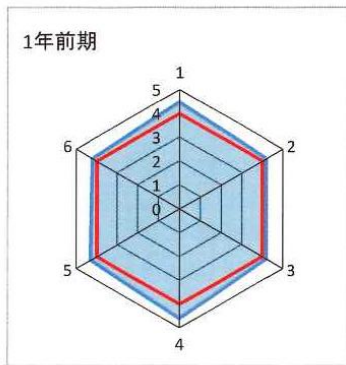
人間生活学科こども発達専攻2年



	観点1	観点2	観点3	観点4	観点5	観点6
1年前期	4.5	4.2	4.2	4.6	4.3	4.2
1年後期	3.7	4.3	4.1	4.1	4.4	4.1
1年累計	8.2	8.5	8.3	8.7	8.7	8.3
2年前期	4.9	4.2	4.3	4.5	4.1	4.6
2年後期	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2
2年累計	9	8.4	8.5	8.7	8.2	8.8
累計	17.2	16.9	16.8	17.4	16.9	17.1

【観点】

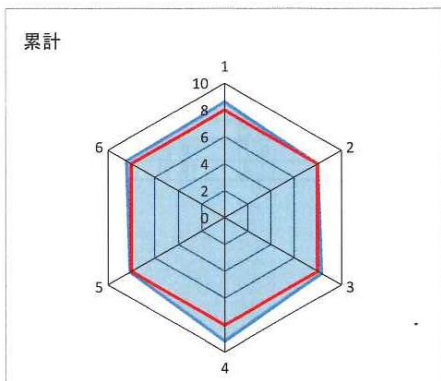
1. 社会人的基礎スキル 2. 専門的知識・技術 3. 思考力
4. コミュニケーション 5. 実践力 6. 向上心・責任感



2年生は、全項目で目標水準の16に達した。いずれも17の前後で、評価点も高く、バランスの良いグラフとなった。

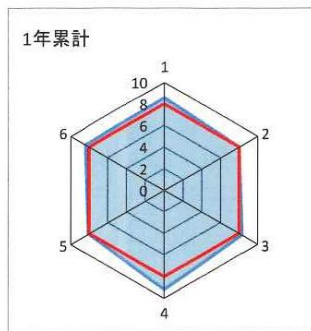
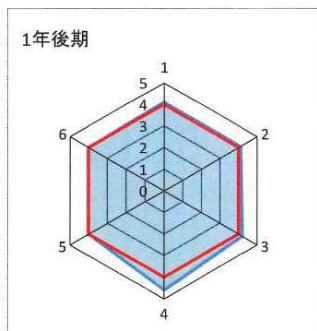
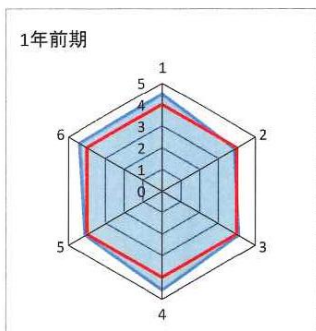
2024 年度ヘルスケア栄養学科学修成果評価結果（教員評価）

ヘルスケア栄養学科1年



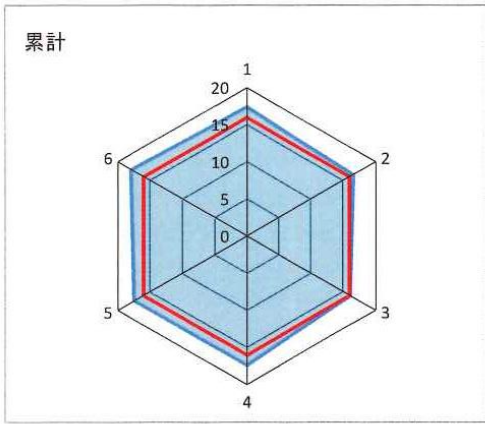
	観点1	観点2	観点3	観点4	観点5	観点6
1年前期	4.5	3.9	4.1	4.6	4.1	4.4
1年後期	4.1	4.1	4.2	4.6	4	4
1年累計	8.6	8	8.3	9.2	8.1	8.4
2年前期						
2年前期						
2年後期						
2年後期	0	0	0	0	0	0
累計	8.6	8	8.3	9.2	8.1	8.4

【観点】
 1. 社会人の基礎スキル 2. 専門的知識・技術 3. 思考力
 4. コミュニケーション 5. 実践力 6. 向上心・責任感



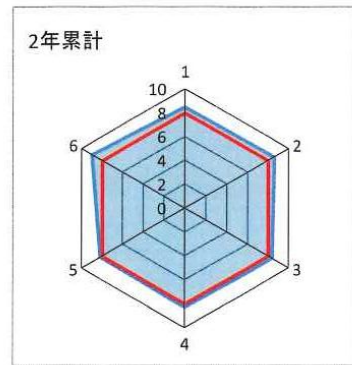
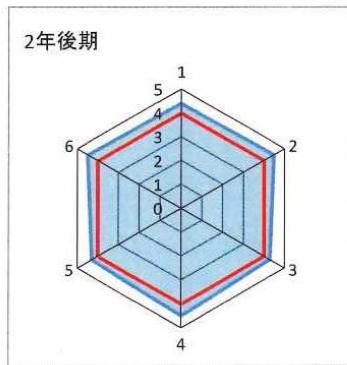
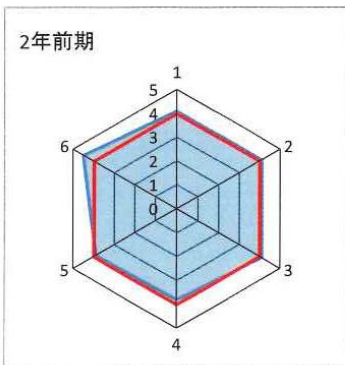
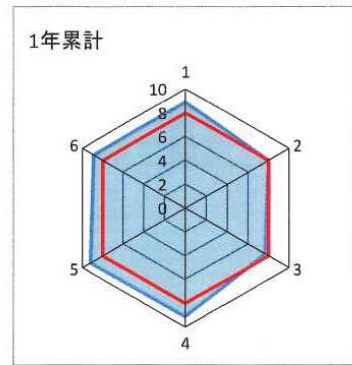
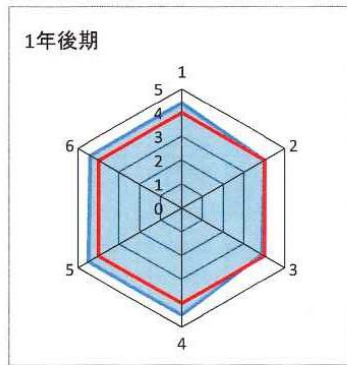
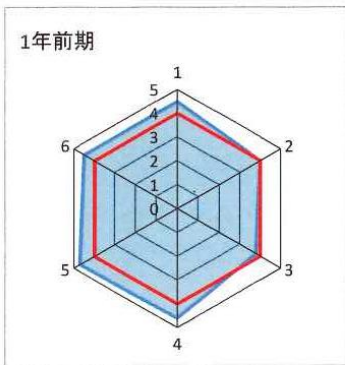
すべてバランス良く獲得しており、特にコミュニケーション力が高い。

ヘルスケア栄養学科2年



	観点1	観点2	観点3	観点4	観点5	観点6
1年前期	4.5	4	3.8	4.6	4.7	4.5
1年後期	4.4	4	3.9	4.5	4.5	4.4
1年累計	8.9	8	7.7	9.1	9.2	8.9
2年前期	4.1	4.1	4.1	3.8	3.9	4.5
2年後期	4.4	4.5	4.3	4.5	4.3	4.5
2年累計	8.5	8.6	8.4	8.3	8.2	9
累計	17.4	16.6	16.1	17.4	17.4	17.9

【観点】
 1. 社会人の基礎スキル 2. 専門的知識・技術 3. 思考力
 4. コミュニケーション 5. 実践力 6. 向上心・責任感



2024年度はすべてにおいて目標を達成し、バランスよく修得しているが、向上心・責任感が高い。

2024 年度短期大学の学修成果評価結果（教員の評価）

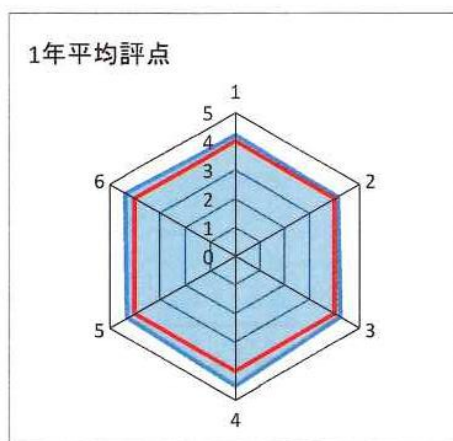
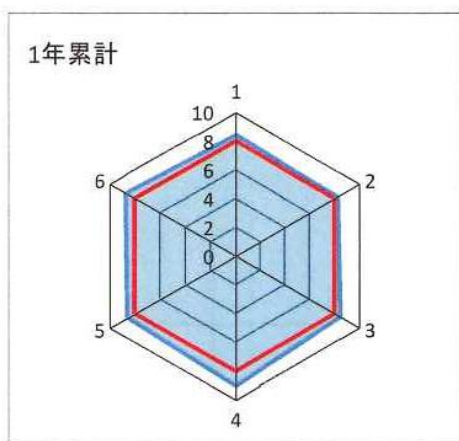
全学レベル

— 目標値 — 評価値

【観点】					
1. 社会人の基礎スキル	2. 専門的知識・技術	3. 思考力			
4. コミュニケーション	5. 実践力	6. 向上心・責任感			

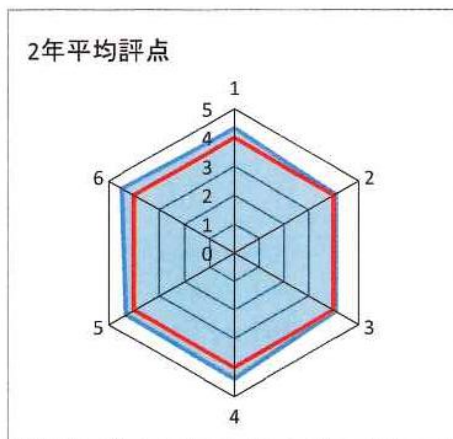
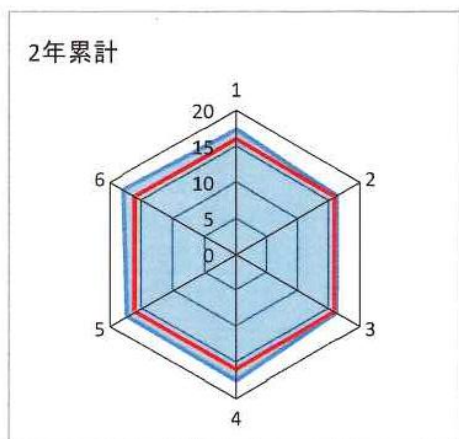
【1年生】

	観点1	観点2	観点3	観点4	観点5	観点6
累計	8.43	8.27	8.47	9.03	8.60	8.73
平均評点	4.22	4.13	4.23	4.52	4.30	4.37



【2年生】

	観点1	観点2	観点3	観点4	観点5	観点6
累計	17.37	16.33	16.27	17.53	17.23	17.90
平均評点	4.34	4.08	4.07	4.38	4.31	4.48



短期大学全体としては1年生、2年生ともに目標の4.0に達している。相対的に専門的知識・技術と思考力が低く、コミュニケーション力、実践力、社会人基礎スキル、向上心・責任感が高い。

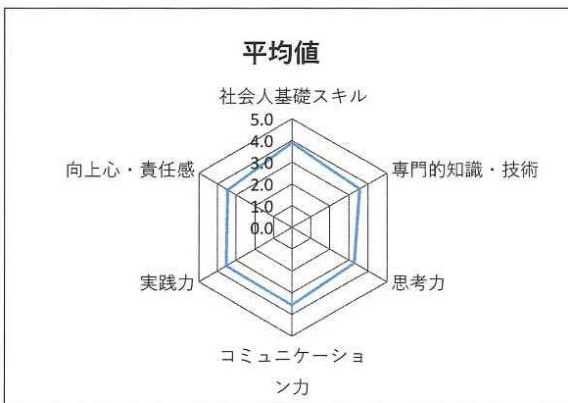
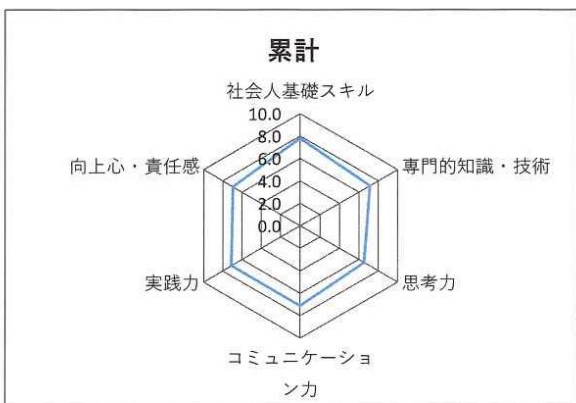
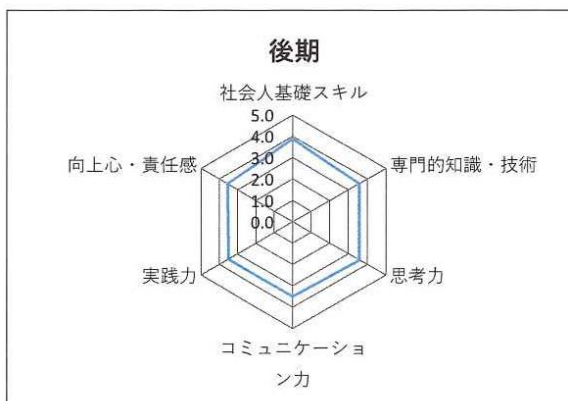
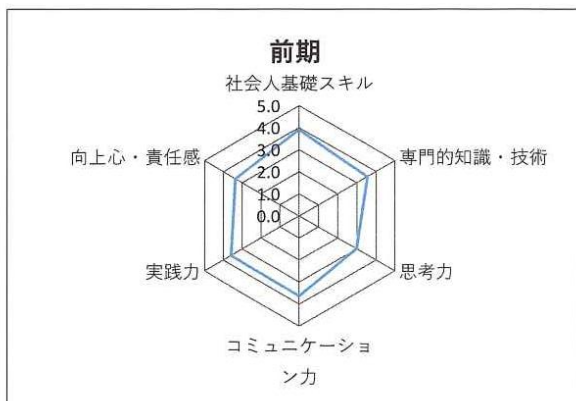
2024年度 学修成果自己評価結果（学生自己評価）

2024年度キャリア創造専攻の自己評価結果

キャリア創造専攻 1年

	社会人基礎スキル	専門的知識・技術	思考力	コミュニケーション力	実践力	向上心・責任感
1年前期	3.91	3.55	2.97	3.64	3.58	3.36
1年後期	3.88	3.59	3.59	3.50	3.50	3.56
累計	7.79	7.13	6.56	7.14	7.08	6.92
平均値	3.90	3.57	3.28	3.57	3.54	3.46

目標値：評点4（累計：評点8）

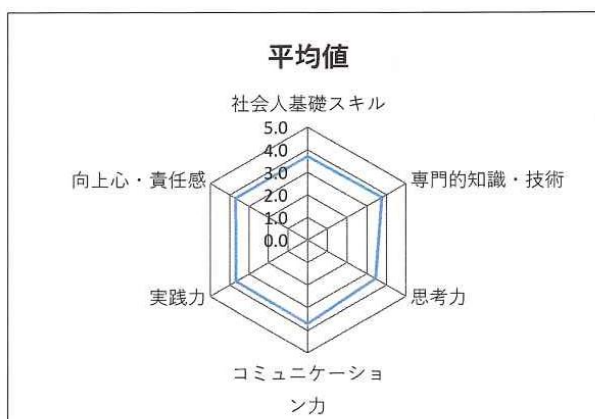
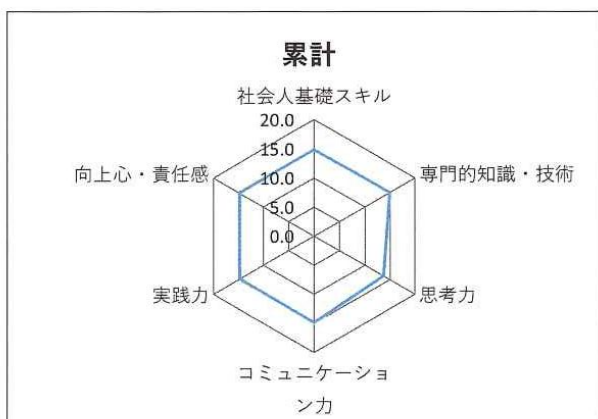
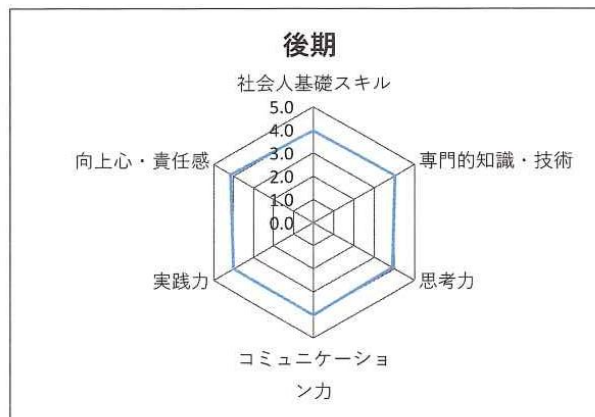
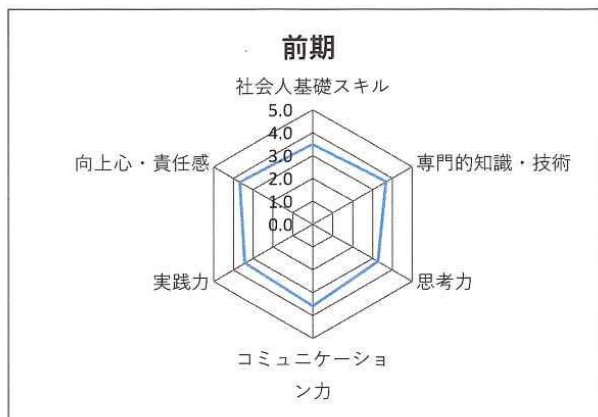


自己評価は教員の評価よりも低い。特に思考力が低い。

キャリア創造専攻 2年

	社会人基礎スキル	専門的知識・技術	思考力	コミュニケーション力	実践力	向上心・責任感
1年前期	3.74	3.65	3.19	3.71	3.68	3.58
1年後期	3.62	3.61	3.41	3.62	3.61	3.41
2年前期	3.48	3.69	3.28	3.59	3.41	3.66
2年後期	3.97	4.03	3.90	4.00	4.00	4.14
累計	14.81	14.98	13.78	14.92	14.70	14.79
平均値	3.70	3.74	3.44	3.73	3.67	3.70

目標値：評点4（累計：評点16）



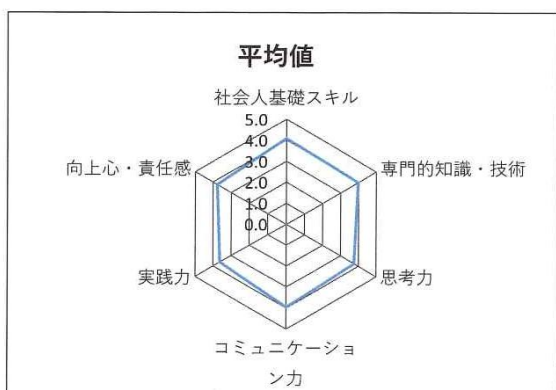
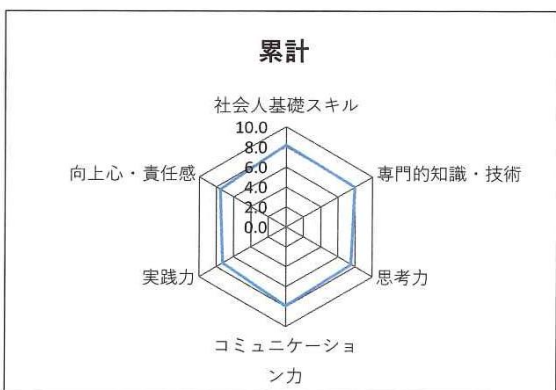
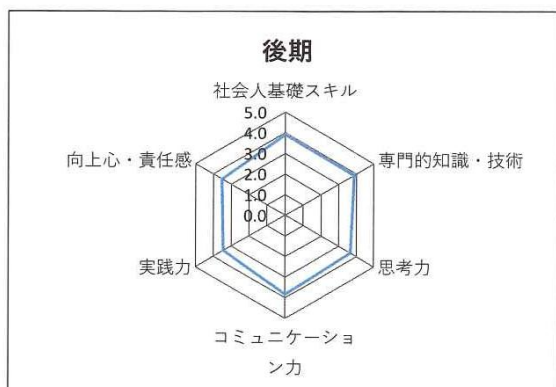
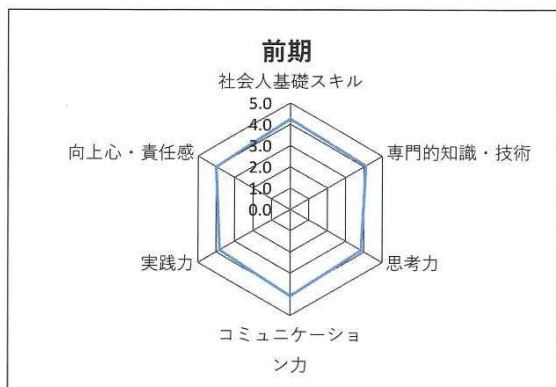
2年生後期の評価点は教員評価に近く、ほぼ4と目標値を獲得している。

2024 年度子ども発達専攻の自己評価結果

子ども発達専攻 1年

	社会人基礎スキル	専門的知識・技術	思考力	コミュニケーション力	実践力	向上心・責任感
1年前期	4.26	4.11	3.85	4.07	3.81	4.00
1年後期	3.91	3.87	3.65	3.83	3.43	3.52
累計	8.17	7.98	7.50	7.90	7.25	7.52
平均値	4.09	3.99	3.75	3.95	3.62	3.76

目標値：評点4（累計：評点8）

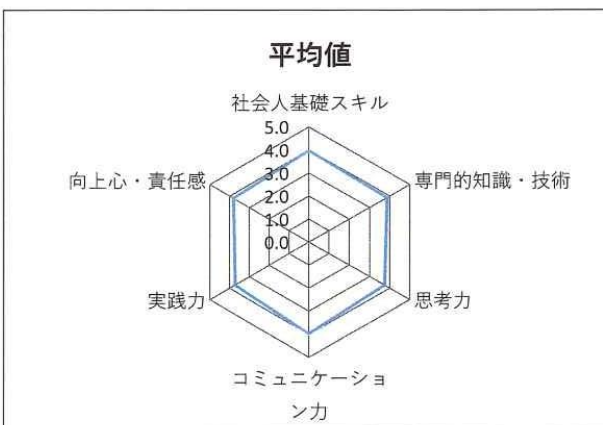
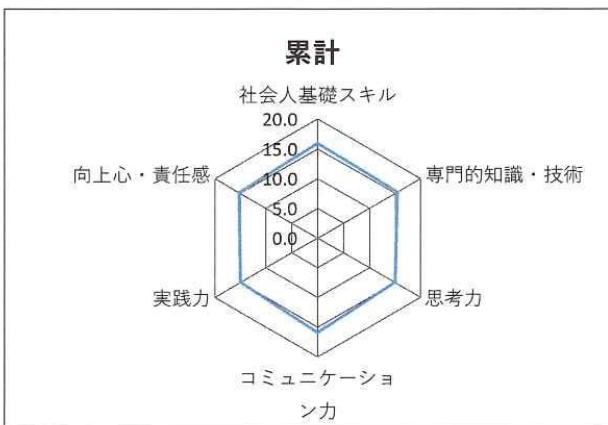
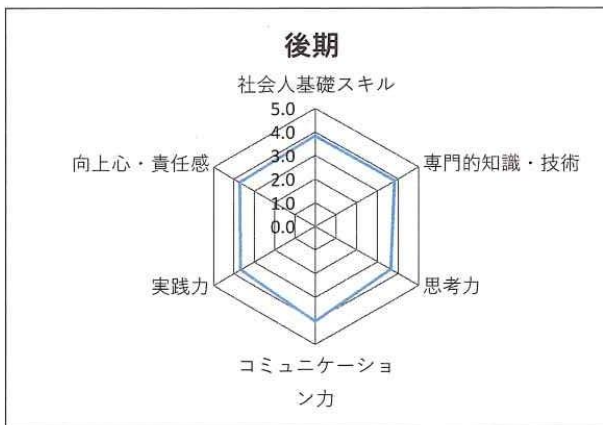
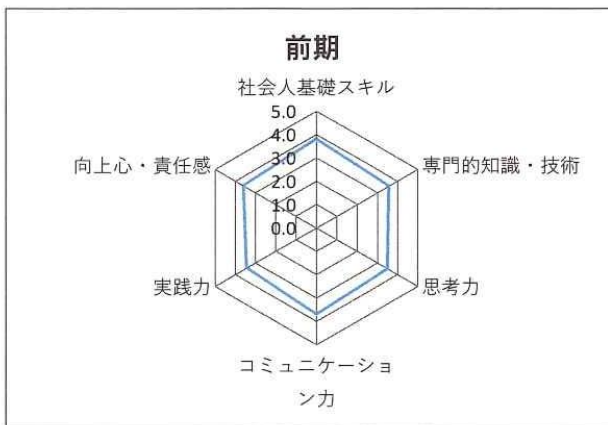


教員による評価よりも自己評価は低い。例年の傾向ではあるが、その中でコミュニケーション力は高く評価していて、目標値に近い。教員の評価と乖離しているのは実践力である。

こども発達専攻 2年

	社会人基礎スキル	専門的知識・技術	思考力	コミュニケーション力	実践力	向上心・責任感
1年前期	4.18	4.09	4.02	4.07	3.95	4.07
1年後期	4.10	3.92	3.82	4.10	3.90	3.90
2年前期	3.80	3.57	3.51	3.71	3.43	3.59
2年後期	3.81	3.83	3.65	4.04	3.67	3.70
累計	15.90	15.41	15.00	15.92	14.94	15.26
平均値	3.98	3.85	3.75	3.98	3.74	3.82

目標値：評点4（累計：評点16）



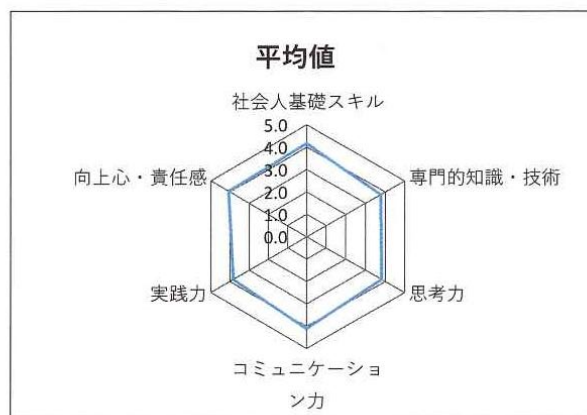
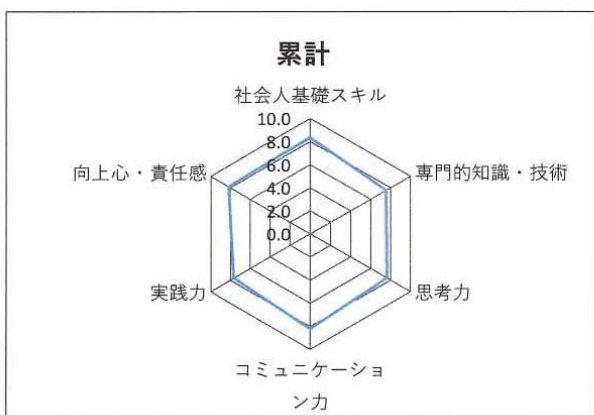
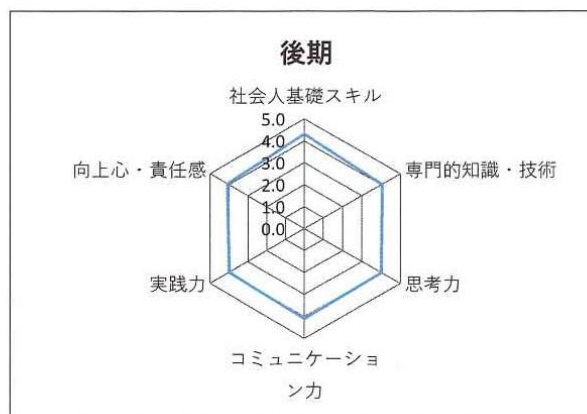
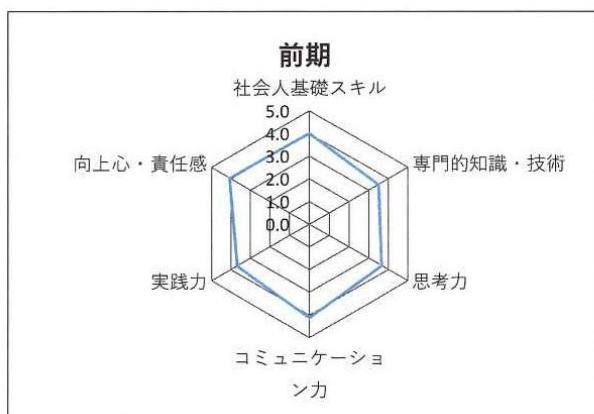
コミュニケーション力、社会人基礎力は目標値に近いが、それ以外は低い。2年生で1年生の時より低いものが多いが、目標そのものが高くなっていると思われる。

2024年度ヘルスケア栄養学科の自己評価結果

ヘルスケア栄養学科 1年

	社会人基礎スキル	専門的知識・技術	思考力	コミュニケーション力	実践力	向上心・責任感
1年前期	4.02	3.51	3.65	4.12	3.67	4.06
1年後期	4.33	4.04	4.00	4.10	3.98	4.10
累計	8.35	7.55	7.65	8.22	7.65	8.16
平均値	4.17	3.78	3.83	4.11	3.83	4.08

目標値：評点4（累計：評点8）

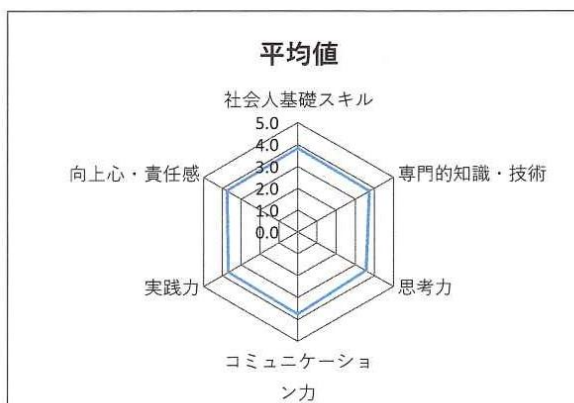
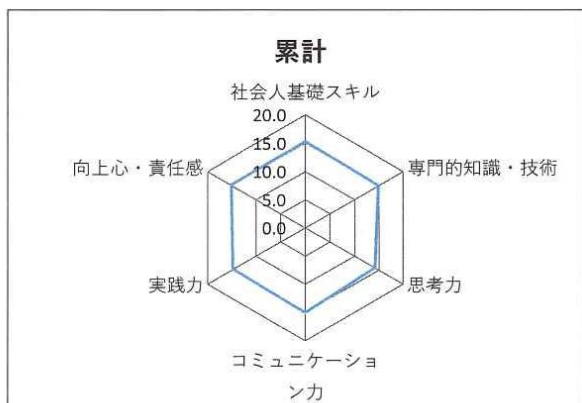
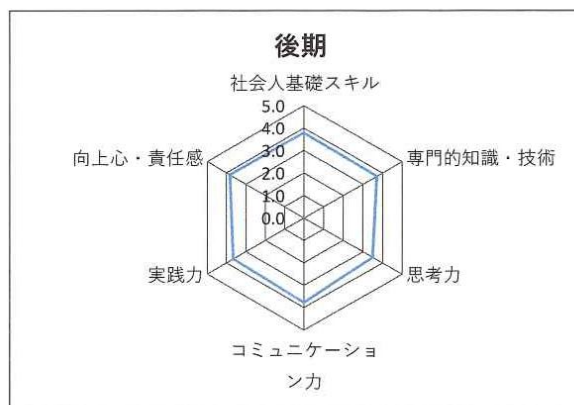
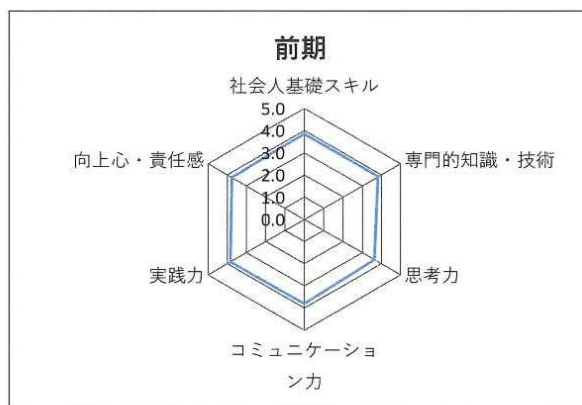


自己評価としては目標値を超えるかまたは極めて近い値となっていて例年より高い。

ヘルスケア栄養学科 2年

	社会人基礎スキル	専門的知識・技術	思考力	コミュニケーション力	実践力	向上心・責任感
1年前期	3.67	3.53	3.36	3.51	3.40	3.58
1年後期	3.95	3.84	3.75	3.98	3.86	3.93
2年前期	3.85	3.84	3.64	3.81	3.83	3.75
2年後期	3.79	3.71	3.49	3.77	3.66	3.83
累計	15.26	14.92	14.25	15.06	14.75	15.08
平均値	3.82	3.73	3.56	3.77	3.69	3.77

目標値：評点4（累計：評点16）



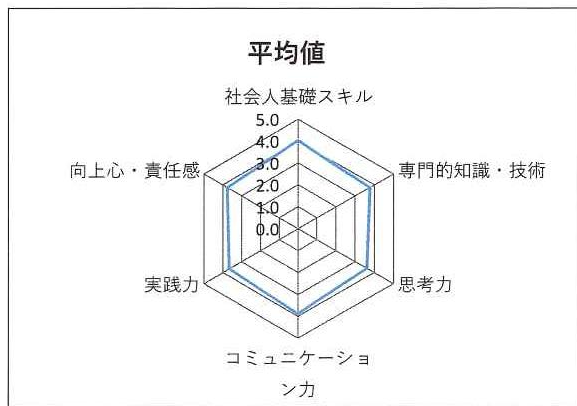
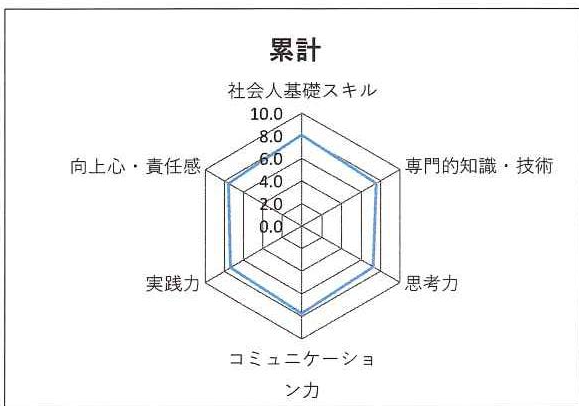
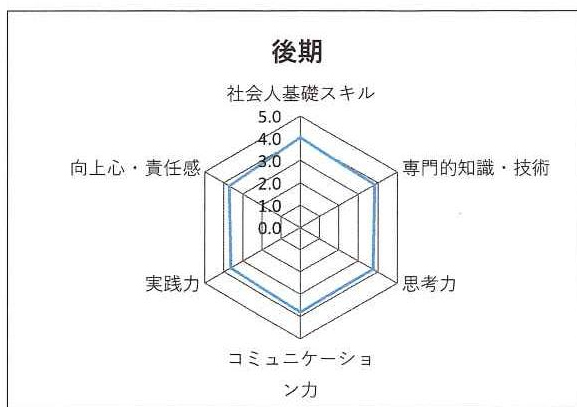
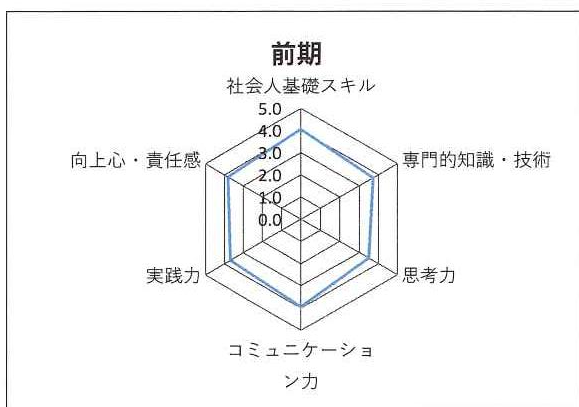
教員による評価に比べて、自己評価はかなり低い。コミュニケーション力と社会人基礎力は目標値の4.0に近いが他はかなり低い。これはヘルスケア栄養学科の例年の傾向である。2年生では実践的な実習が多く、現実を直視した見方をしていることと、深く知ることによって目標そのものが高くなっていることも影響していると思われる。

2024年度 短期大学全体の学修成果 自己評価結果

1年生（全体の平均）

	社会人基礎スキル	専門的知識・技術	思考力	コミュニケーション力	実践力	向上心・責任感
1年前期	4.06	3.72	3.49	3.94	3.69	3.81
1年後期	4.04	3.83	3.75	3.81	3.64	3.73
累計	8.10	7.56	7.24	7.75	7.33	7.54
平均値	4.05	3.78	3.62	3.88	3.66	3.77

目標値：評点4（累計：評点8）

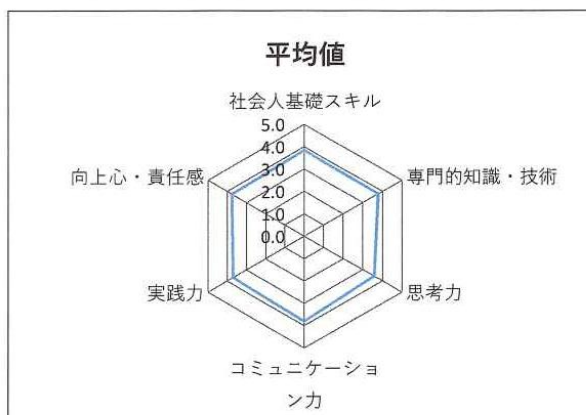
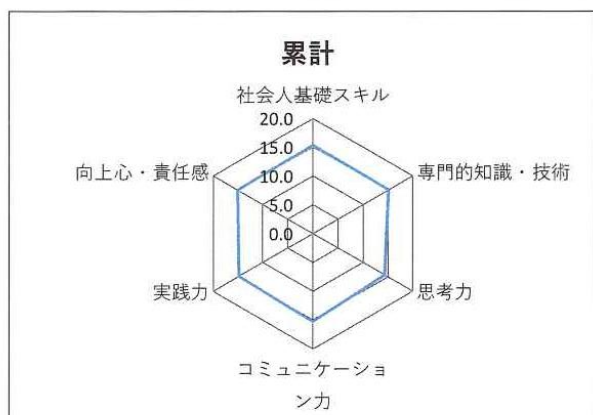
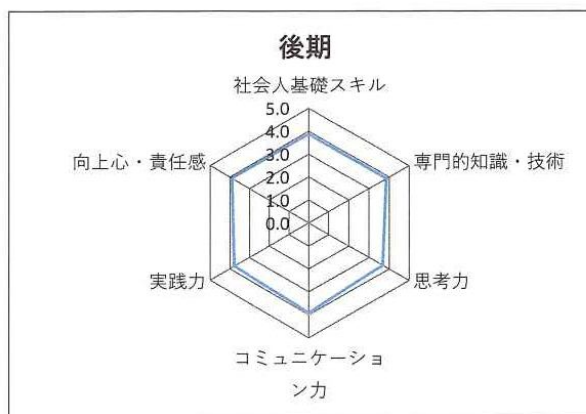
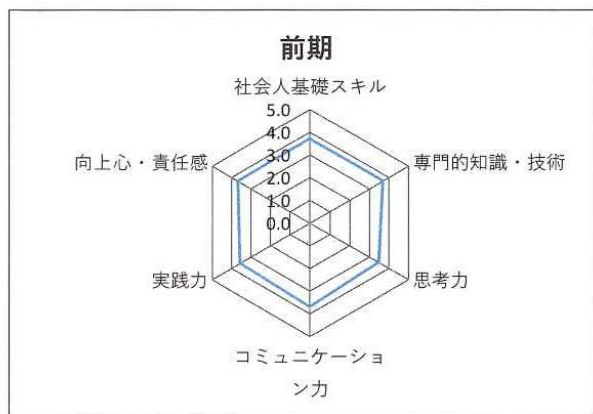


例年通りの低い結果が得られている。

2年生（全体の平均）

	社会人基礎スキル	専門的知識・技術	思考力	コミュニケーション力	実践力	向上心・責任感
2年前期	3.71	3.70	3.48	3.70	3.56	3.67
2年後期	3.86	3.86	3.68	3.93	3.77	3.89
累計	15.32	15.10	14.34	15.30	14.80	15.04
平均値	3.83	3.78	3.59	3.82	3.70	3.76

目標値：評点4（累計：評点16）



学生による学修成果自己評価結果については、1年生、2年生ともに、例年みられる傾向であるが、教員による評価と比べすべての項目で低い傾向であった。

外部評価では日本人特有の傾向が出ているとの意見があったが、学生にもっと自信を持たせるような取組も必要である。キャリア創造専攻に比べてこども発達専攻やヘルスケア栄養学科で教員との評価の間に乖離が見られるのは、保育士、栄養士に対して自らの目標とするところが高い表れでもあると受け取れることもできる。

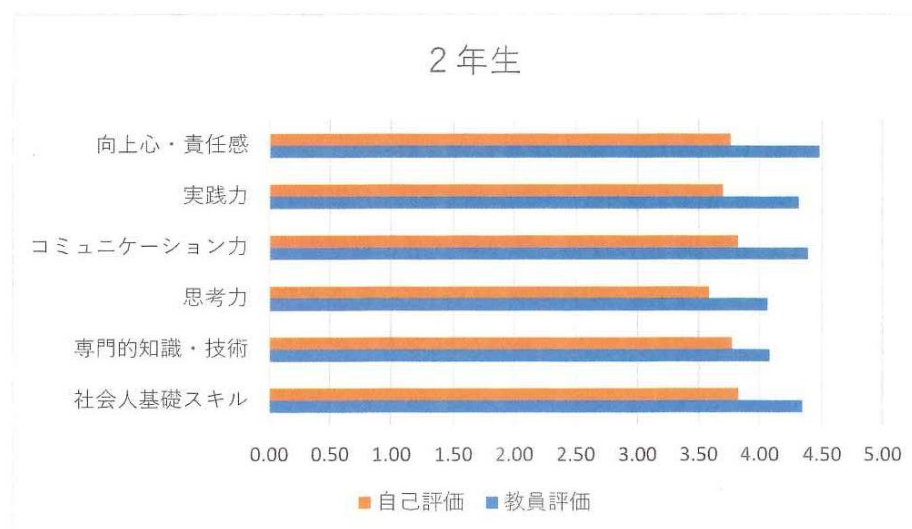
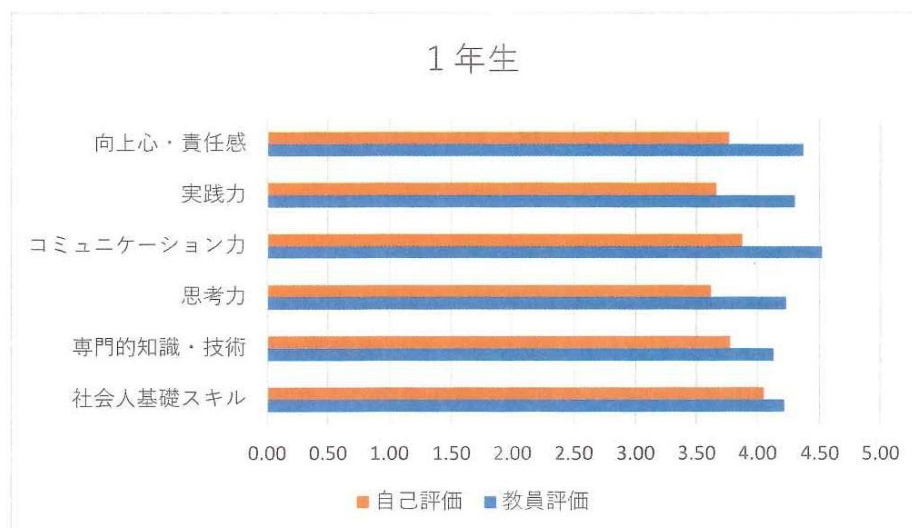
学修成果 教員評価と学生自己評価の比較

【1年生】

	社会人基礎スキル	専門的知識・技術	思考力	コミュニケーション力	実践力	向上心・責任感
教員評価	4.22	4.13	4.23	4.52	4.30	4.37
自己評価	4.05	3.78	3.62	3.88	3.66	3.77
評価の差	0.16	0.36	0.61	0.64	0.64	0.60

【2年生】

	社会人基礎スキル	専門的知識・技術	思考力	コミュニケーション力	実践力	向上心・責任感
教員評価	4.34	4.08	4.07	4.38	4.31	4.48
自己評価	3.83	3.78	3.59	3.82	3.70	3.76
評価の差	0.51	0.31	0.48	0.56	0.61	0.71



7. 学生生活満足度調査

(1) 調査目的

本学学生の学生生活に対する満足度を把握し、今後のよりよい学生生活指導・支援を模索する資料とする。学生の率直な思いや考えを確認し、学生が望む本学における学生生活や教育を知るてがかりとする。

(2) 調査対象

全学生

(3) 調査日

2025年3月4日

(4) 調査方法

Forms を利用する。

(5) 回答者総数

274名（回答率：98.6%、在学者数278名）

		キャリア創造専攻	こども発達専攻	ヘルスケア 栄養学科	全学
回答者	1年	34	22	46	102
	2年	29	56	87	172
	合計	63	78	133	274
在籍者	1年	34	23	49	106
	2年	29	56	87	172
	合計	63	79	136	278
回収率 (%)	1年	100.0	95.7	93.9	96.2
	2年	100.0	100.0	100.0	100.0
	合計	100.0	98.7	97.8	98.6

(6) 結果

別紙：「学生生活満足度調査報告書」

(7) 分析

学生生活満足度調査の質問は2020年度まで授業や施設設備等の学生生活について12項目、事務室の対応3項目、本学の全体評価に関して5項目の計20項目となっていた。2021年度から次の9項目増やした。「Wi-Fiなどの通信環境」「具体的な目標・目的をもって主体的に学んでいる」「大学が学生に卒業時まで身につけることを求める力を理解している」「授業アンケートなどを通じて大学教育が良くなっている」「教員が学生と向き合って教育に取り組んでいる」「大学の学びによって自分自身の成長を実感している」「知識やスキルを組み合わせる一つの物を作り出す力（デザイン力）が必要だと感じている」「主体的に学び続けていくことの大切さを感じている」「大学での学びを通じて社会に対する理解度が深まっている」

WiFi環境については2021年度は38%であったものが、LAN工事をしたことによって2022年度70%まで改善され、2024年度は82.8%の結果が得られた。

昭和学院短期大学に対する評価は満足率91.6%だった。授業内容、学生指導、就職・進路相談もそれぞれ90%を超えており、事務局の対応に対する評価も高い。

また、サークル活動や学校行事に対する満足度は、コロナ禍以降、改善が進み、2024年度はそれぞれ87.6%、89.4%だった。

施設・設備に対する満足度、学外実習に対する満足度も高かった。

8. 進路調査

①就職

2024年度（2025年3月卒業生）就職状況

学 科	専 攻	卒業者	就職 希望者	進学者	その他	内定者	内定率 (%)
人間生活 学科	キャリア創造	29	26	0	3	26	100
	こども発達	56	55	0	1	55	100
ヘルスケア栄養学科		84	81	1	2	81	100
計		169	162	1	6	162	100

就職希望者 161名 就職者 161名

学 科	専 攻	卒業者	就職者	進学者	その他	就職率 (%)	進学率 (%)
人間生活 学科	キャリア創造	29	26	0	3	89.7	0.0
	こども発達	56	55	0	1	98.2	0.0
ヘルスケア栄養学科		84	81	1	2	96.4	1.2
計		169	162	1	6	95.9	0.6

【キャリア創造専攻】

就職先	人数 (人)	割合 (%)
アパレル・食品・雑貨等販売職	13	50.0
営業・事務・企画職	7	26.9
サービス職	4	15.4
教員	2	7.7
計	26	100.0

【こども発達専攻】

就職先	人数 (人)	割合 (%)
保育士（公務員保育士8名）	32	58.1
幼稚園	20	36.4
その他（販売職1、事務職1）	3	5.5
計	55	100.0

【ヘルスケア栄養学科】

就職職種	人数 (人)	割合 (%)
栄養士	71	87.6
栄養士を活かした分野への就職	5	6.2
その他(販売職1、事務職1)	5	6.2
計	81	100.0

就職のための資格取得、就職試験対策等の支援や、卒業時の就職状況について、以下のとおり、学科・専攻ごとに分析・検討し、その結果を学生の就職支援に活用している。

【人間生活学科キャリア創造専攻】

多様な学びをしていることから、学生の興味関心に対応したキャリアデザインを指導した。

【人間生活学科こども発達専攻】

学生の就職支援は、担任が中心となり、早い時期から学級指導・個別面接の中で意識づけをし、就職課と連携をとりながら指導にあたっている。その上に、専攻の全教員が学生一人ひとりのサポートに携わる体制をとっている。特に、実技・小論文等の試験内容に応じて各教員の専門性を活かしながら具体的な指導やアドバイスをすることができた。2024年度も「保育フェスタ」を開催し、卒業生が就職している保育園や幼稚園と連携して就職説明会を行った。2024年度の公務員保育士は、9名が受験し、8名が合格通知をもらい、8名が公務員保育士として就職することができた(合格率:88.9%)。今後、1・2年生を対象にそれぞれ実施する「公務員試験合格教養講座」などを通して、学生のモチベーションを高めながら受験者の増加と合格率を維持していく。

就職状況は、共働き夫婦の家庭の増加等によって待機児童の多さが依然として問題となっている中、保育・幼児教育分野は慢性的な人手不足であり、内定しやすいともいわれる。しかし、安定して長く仕事を続けるためには、卒業生や実習先等の情報をよく吟味し、自分に合う企業や施設を見極めることが重要である。そのために、学生が実習した施設及び就職した施設の雰囲気や試験内容、後輩に向けてのアドバイス等を記入した就職活動報告書を整備し学生が自由に閲覧できるようにしている。この就職活動報告書の活用に加えて、多様な保育内容の施設があることを知る活動として、卒業生を招いて話を聞く活動、就職面接会の活用を体験する活動など充実・強化させている。

【ヘルスケア栄養学科】

就職希望者は81名で、栄養士として71名が就職をしており、栄養士就職が90%弱と本学の特徴を強調することができる成果があった。

2019年度から学内合同会社説明会を実施している。2024年度も実施し、実績をあげるとともに学生には大変好評であった。

②進学

2024年度における進学者は1名であった。他大学等から受けた編入学等案内等の総数は約67件で、その内訳は、入学案内12件、編入学案内46件、指定校推薦23件、その他5件であった。進学案内に関わる情報は2024年度からSharePoint進学情報窓口を設置し、随時情報発信を行った。

9. 入学試験の種類と成績及び進路

2025年9月

2023年度入学生に関する調査 -入学者選抜方法の妥当性の検証-

IR室

はじめに

本学では、総合型選抜、学校推薦型選抜、特別選抜、一般選抜といった多様な選抜方法を採用し広く入学生を獲得すべく努めている。

それぞれの選抜試験によって入学してきた学生が卒業時にどれだけの成績を修めているのか、その関係性について毎年追跡調査を行っている。今回も2023年度入学生（2025年3月卒）を対象に比較分析する。分析内容は「GPAと選抜区分の関係」、「高校の評定平均とGPAの関係」、「学修成果と選抜区分の関係」、「退学者と選抜区分の関係」の4つとし、過去の分析結果も含めて選抜方法の妥当性を検証する。

結果と考察

1. 2023年度入学生の基礎データ

表1-1及び図1-1のとおり、入学者174名の内、学校推薦型選抜（指定校）が90名（51.7%）、総合型選抜が42名（24.1%）である。例年指定校と総合型が80～85%を占めているが、2023年度は75.8%で、それ以外の特別選抜や社会人選抜が24.2%を占めている。

表1-1. 選抜区分別の入学者数

選抜区分	キャリア 創造専攻	こども発達 専攻	ヘルスケア 栄養学科	合計	割合(%)
総合型	14	13	15	42	24.1
社会人総合型	0	0	6	6	3.4
学校推薦型（指定校）	11	27	52	90	51.7
併設校	2	5	2	9	5.2
ソフトテニス	2	3	2	7	4.0
同窓生子女	4	4	3	11	6.3
社会人同窓生子女	0	0	1	1	0.6
資格Ⅰ	1	0	0	1	0.6
資格Ⅱ	2	0	3	5	2.9
資格Ⅲ	0	0	2	2	1.1
合計	36	52	86	174	

※ 学校推薦型選抜（一般）、一般選抜の入学者なし
※ 離職者等再

就職訓練生を除く

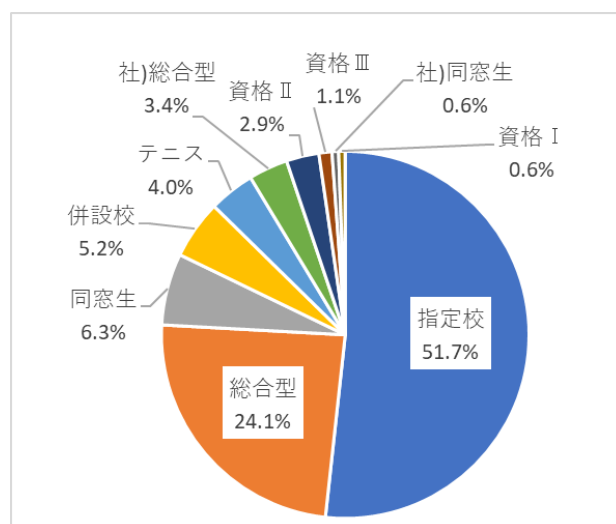


図 1-1. 入学生の選抜区分の割合

表 1-2. 退学等の異動および卒業生数

	キャリア 創造専攻	こども 発達専攻	ヘルスケア 栄養学科	合計
退学	7	1	2	10
留年	0	0	1	1
卒業	29	51	83	163

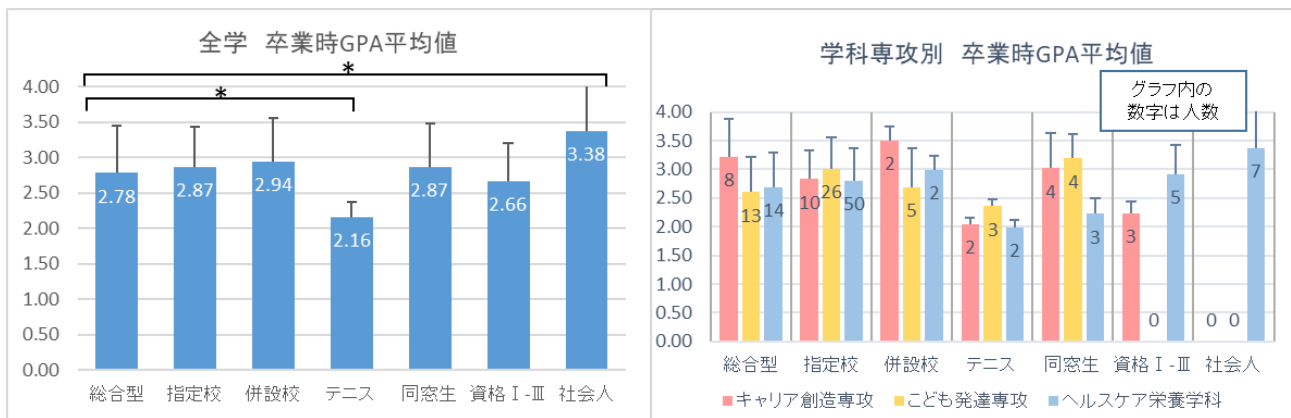
2. GPA と選抜区分の関係

まず、2023 年度入学生を選抜区分別に分類し、それぞれの卒業時の GPA の平均値と標準偏差を表に示した。さらに、総合型と他の選抜区分間との平均値の検定（t-検定：両側検定）を行い平均値の有意差を調べた。

その結果、GPA 平均値が最も高かった選抜区分は、社会人選抜（社会人総合型・社会人同窓生子女）の 3.38 で、総合型選抜の平均値との t-検定においても有意差があることが分かった。このことから、社会人選抜では優れた社会人が入学していると言える。一方で、GPA 平均値が最も低かったのは、特別選抜（ソフトテニス）の 2.16 で t-検定においても有意差があることが分かった。これが一時的なものかどうか、今後注視していく。

表 2-1. 2023 年度入学生の卒業時 GPA 平均

	総合型	学校 推薦型 (指定校)	併設校	テニス	同窓生子 女	資格 I - III	社会人(総 合型・同窓 生子女)
GPA 平均値	2.78	2.87	2.94	2.16	2.87	2.66	3.38
標準偏差	0.66	0.56	0.62	0.21	0.61	0.54	0.75
N	35	86	9	7	11	8	7
危険率(p)		0.4714	0.5350	0.0002	0.7162	0.6458	0.0456

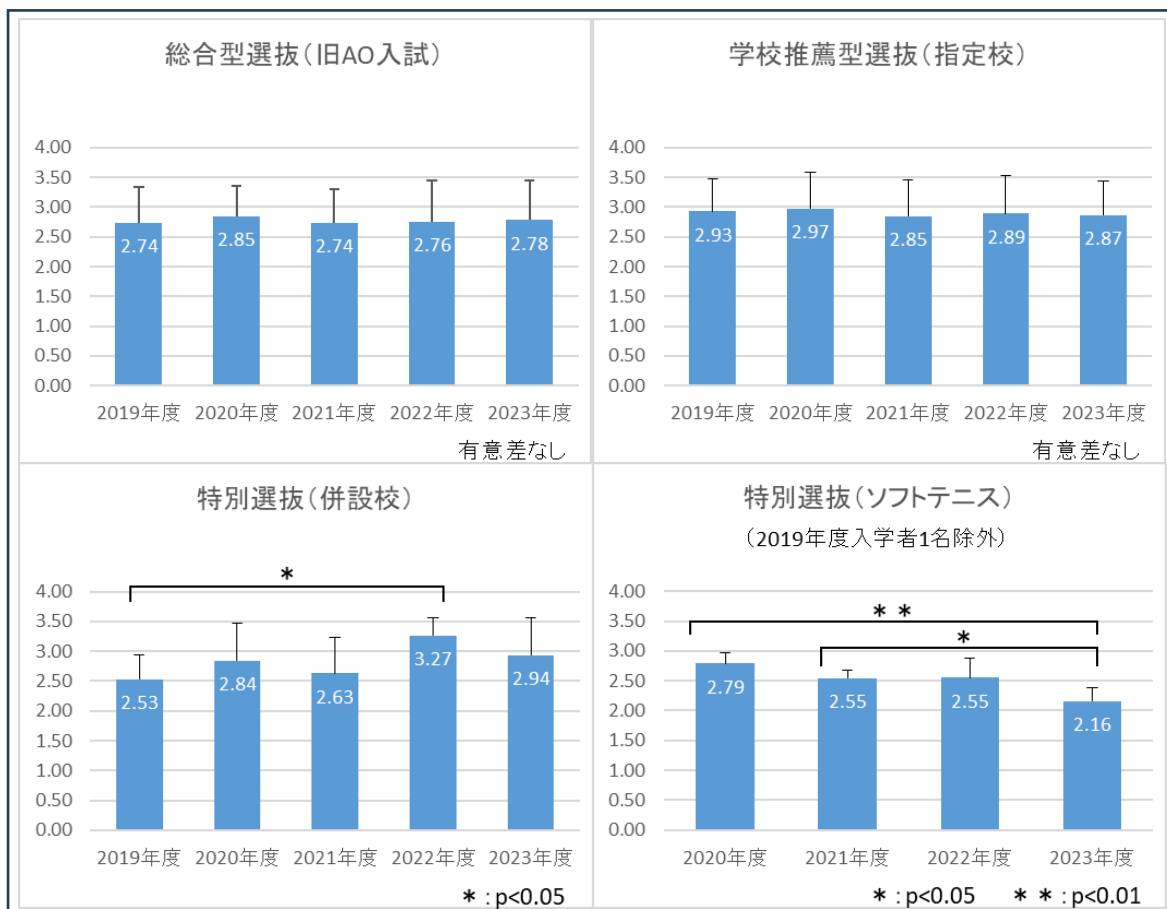


* : <0.05

図 2-1. 選抜区分別の卒業時 GPA 平均値

次に、2019 年度～2023 年度入学生の過去 5 年間の GPA 平均値を選抜区分別にグラフに示した。

総合型選抜、学校推薦型選抜（指定校）については、ほとんど横ばいである。社会人選抜は、2021 年度入学生から 3 年間、約 3.3 と高い平均を維持している。特別選抜については、併設校および同窓生子女選抜の 2023 年度入学生の平均値は、2022 年度入学生より下がっているものの、バラつきが大きく有意差は認められなかった。一方で、ソフトテニス選抜は、他の選抜区分と比較して平均が最も低く、2020 年および 2021 年度入学生より有意に低い結果となった。



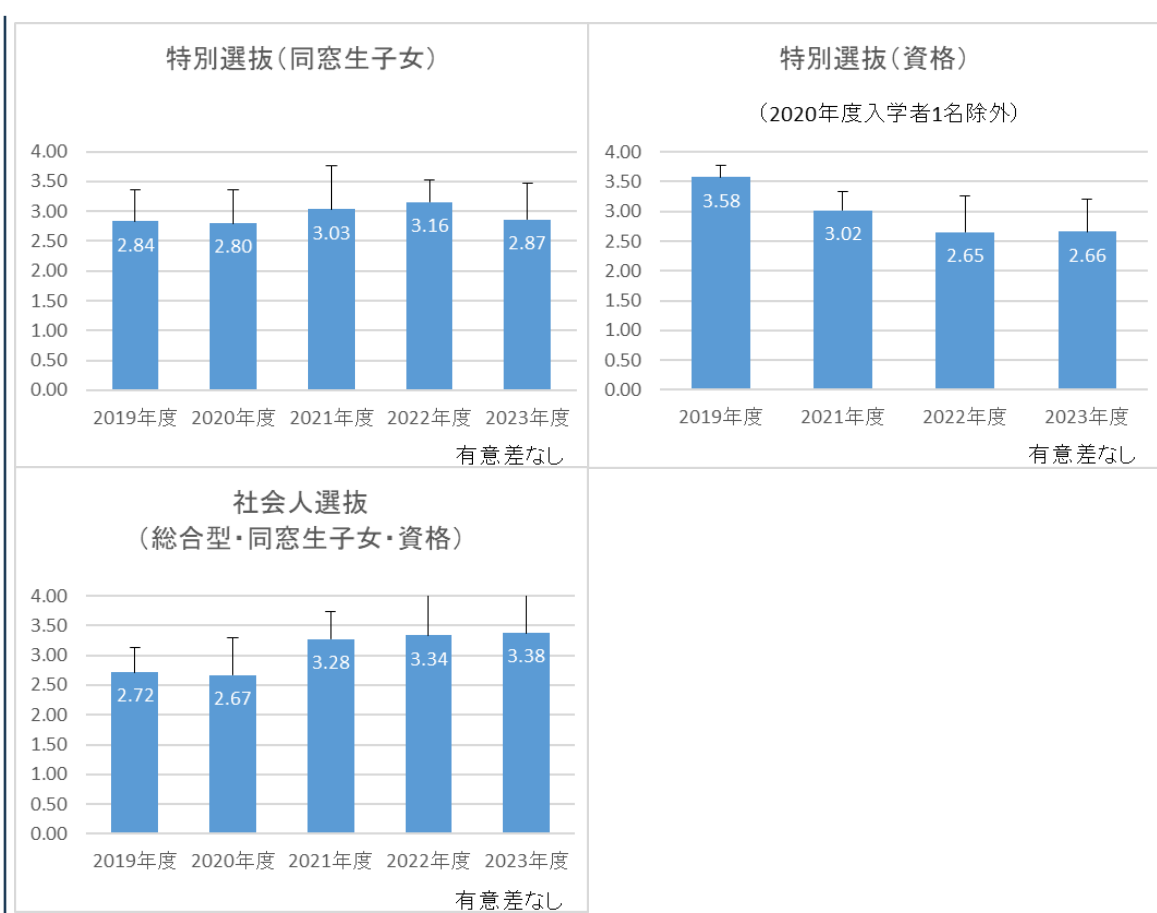


図 2-2. 過去 5 年間の選抜区分別の GPA 平均値

3. 高校の評定平均と GPA の関係

GPA 上位 10 名と下位 10 名の選抜区分、高校の評定平均値を表に示した。

上位 10 名の評定平均値は平均すると 4.1 (標準偏差 0.64) で、選抜区分は社会人総合型選抜が 4 名、学校推薦型選抜 (指定校) が 3 名、総合型選抜が 2 名、特別選抜 (併設校) が 1 名という結果だった。

下位 10 名は、評定平均値の平均が 3.4 (標準偏差 0.50) で、選抜区分は学校推薦型選抜 (指定校) が 5 名、総合型選抜が 3 名、特別選抜 (併設校) と特別選抜 (ソフトテニス) が各 1 名という結果だった。

これらは、入学時からの学修意欲が持続したか否かの違いかと考えられる。

表 3-1. GPA 上位 10 名の選抜区分と高校名

	GPA	選抜区分	学科専攻	高校名	評定平均
1	3.99	社)総合型	栄養	千葉大宮高等学校	—
2	3.97	社)総合型	栄養	大湊高等学校	—
3	3.96	総合型	創造	千葉北高等学校	3.3
4	3.95	指定校	発達	篠崎高等学校	4.9
5	3.94	社)総合型	栄養	京葉高等学校	—
6	3.90	指定校	栄養	木更津東高等学校	4.7
7	3.87	社)総合型	栄養	豊田東高等学校	—
8	3.85	総合型	創造	飯山高等学校 (長野県)	3.8
9	3.79	指定校	栄養	市原八幡高等学校	4.4
10	3.74	併設校	創造	昭和学院高等学校	3.3

表 3-2. GPA 下位 10 名の選抜区分と高校名

	GPA	選抜区分	学科専攻	高校名	評定平均
1	1.46	指定校	発達	県立 A	3.9
2	1.56	指定校	栄養	県立 B	3.3
3	1.66	総合型	栄養	県立 C	2.5
4	1.67	総合型	栄養	私立 D	3.2
5	1.68	指定校	栄養	私立 E	3.4
6	1.75	総合型	発達	私立 F	4.0
7	1.78	指定校	栄養	私立 G	3.9
8	1.78	指定校	栄養	私立 D	3.9
9	1.79	併設校	発達	私立 H	2.7
10	1.85	テニス	栄養	県立 I	3.5

次に、高校の評定平均値と GPA の散布図を学科専攻別に示した。

相関係数は、キャリア創造専攻が 0.479、こども発達専攻が 0.473、ヘルスケア栄養学科が 0.555、全体では相関係数 0.458 で、それぞれ弱～中程度の正の相関がある。これは、例年と同様の結果である。

高校の評定平均値と GPA の間に明確な相関性はほとんど認められない。

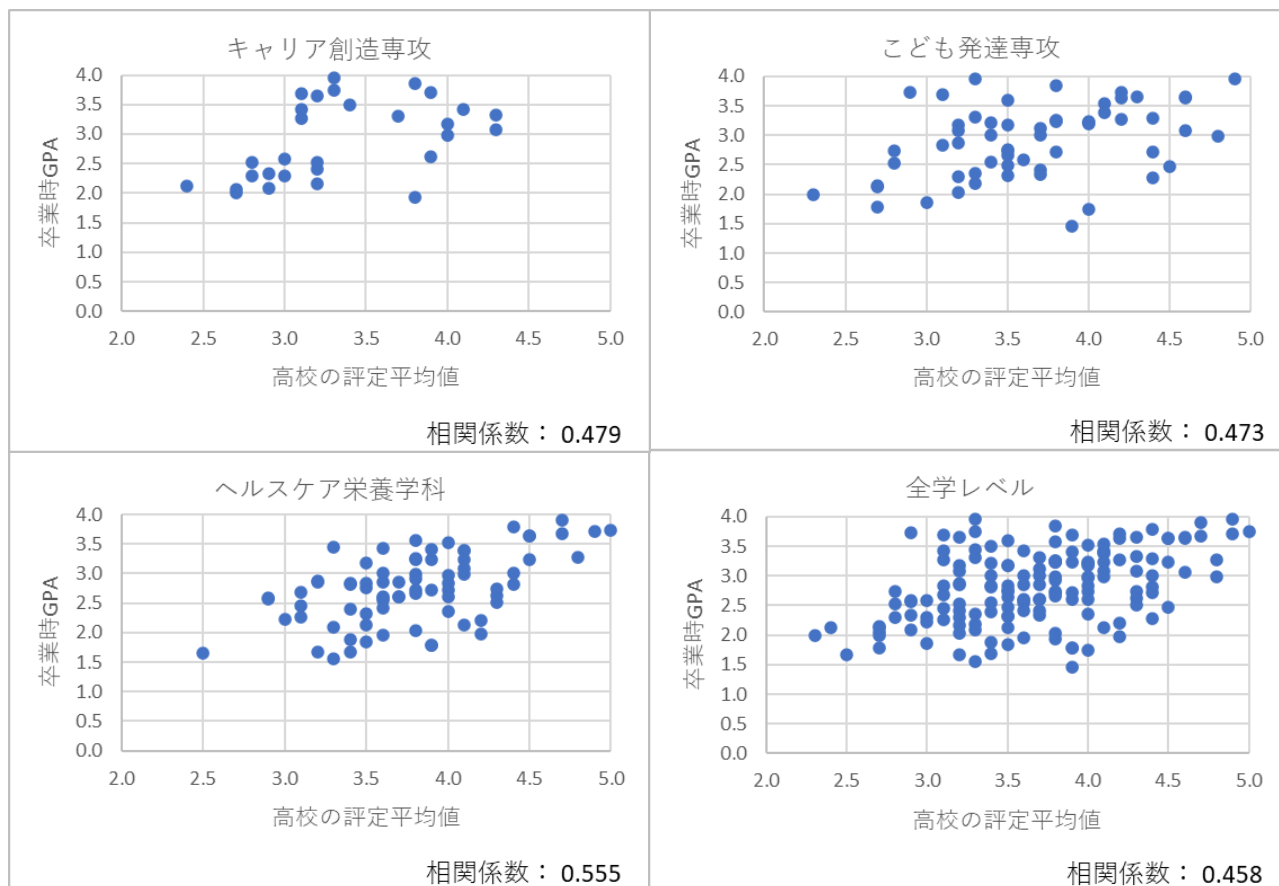


図 3-1. 高校の評定平均値と GPA の散布図

4. 学修成果と選抜区分の関係

選抜区分別に学修成果評価結果をグラフで示した。

ほとんどの選抜区分・評価項目の平均は 4 を超えており、社会人選抜は特に高い数値となっている。全体として、「社会人基礎スキル」、「コミュニケーション力」、「向上心・責任感」は高く、「専門的知識・技術」、「思考力」はやや低い傾向が見られた。特別選抜（ソフトテニス）は、GPA 平均値同様、学修成果評価結果もまた低い結果となった。

6 つの学修成果については、公立と併設校の高等学校長および企業による 2023 年度自己点検に係る外部評価において、「社会で求められている人材育成に対し本学の学修成果は適切である」と評価されている。

このことから、選抜区分別の平均値に違いはあるが、学修成果を獲得し地域社会に貢献できる人材を輩出していると言える。

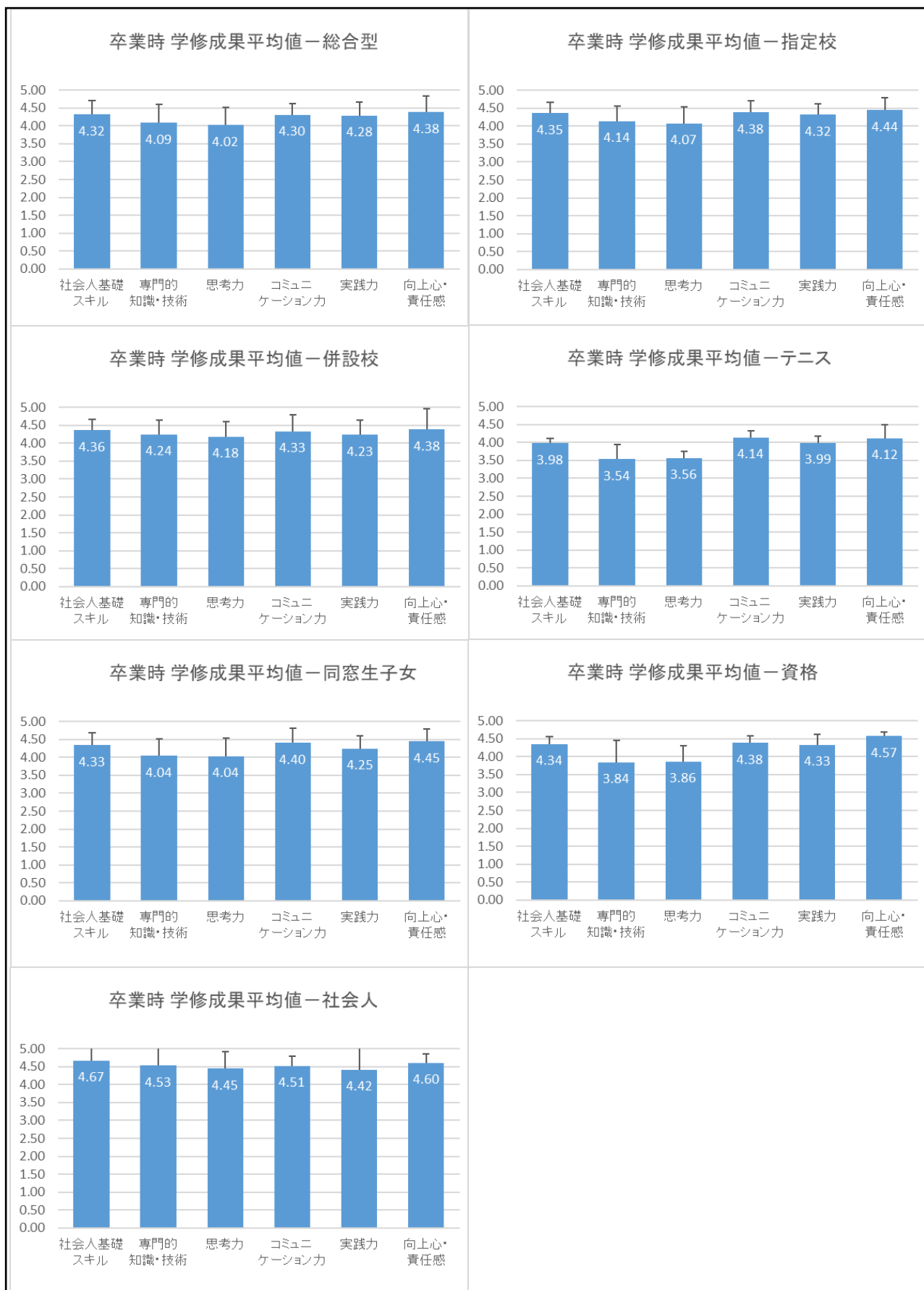


図 4-1. 選抜区分別学修成果平均値

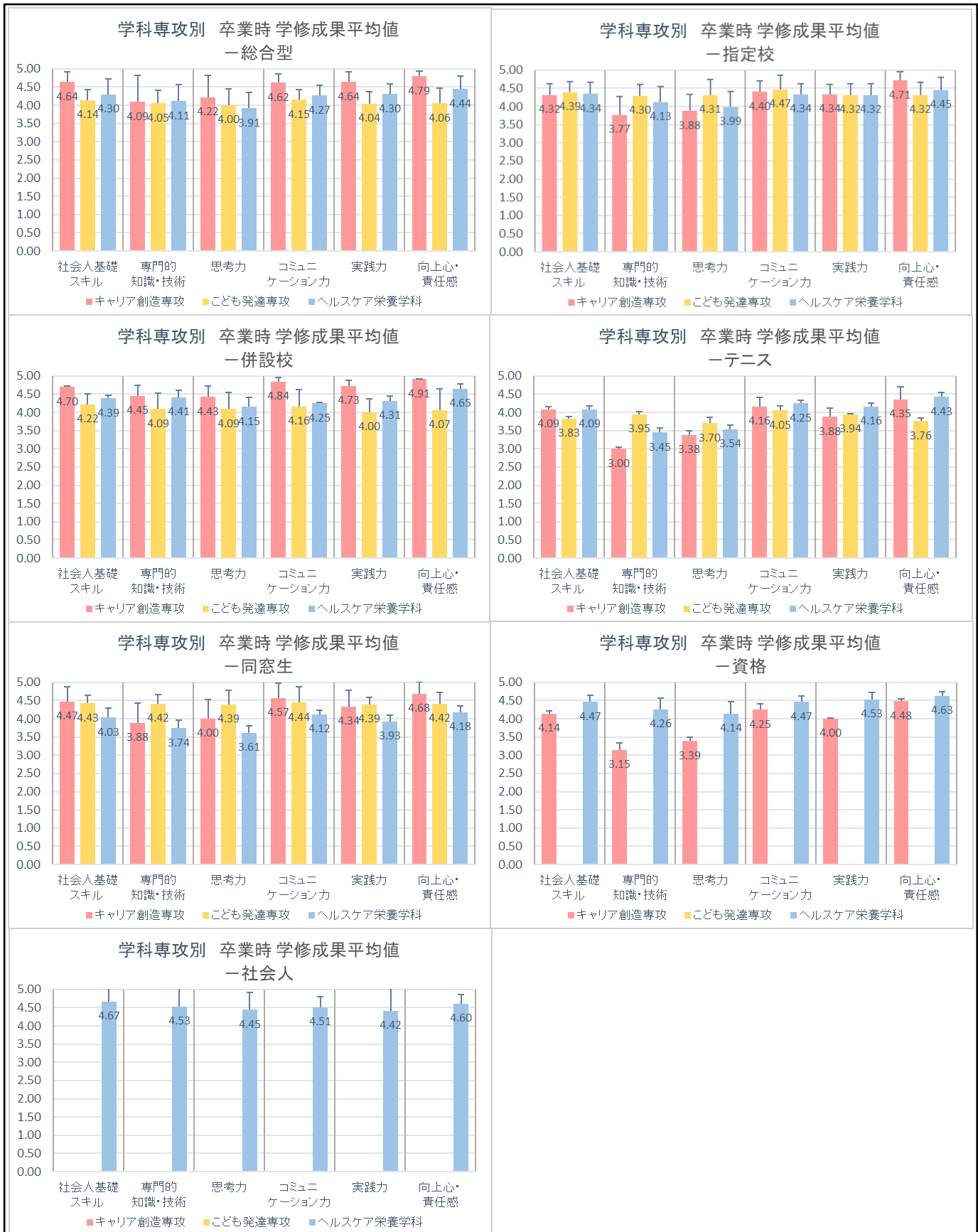


図 4-2. 学科専攻別の学修成果平均値

5. 退学者と選抜区分の関係

2019年度～2023年度入学生の過去5年間の退学者数を選抜区分別に表に示した。

この5年間で退学者が最も多い年度は、2020年度入学生で14名、最も少ない年度は2021年度入学生で6名である。平均して各年度約10名の退学者が出ている。選抜区分別の過去5年の合計は総合型選抜（旧AO入試）27名、学校推薦型選抜（指定校）14名の退学者があつて、退学率はそれぞれ8.0%、3.2%であつた。

なお、学校推薦型選抜（一般）の退学率が高いが、これは入学者が各年2,3名と少ないため高率となっている。

表 5-1. 全体の退学者数

選抜区分 入学年度	総合型 (旧 AO)	学校 推薦型 (指定校)	学校 推薦型 (一般)	併設校	同窓生 子女	資格	一般	社会人	計	退学率
2019年度	3	4	1	0	0	0	0	1	9	4.5%
2020年度	9	2	1	1	0	0	0	1	14	8.0%
2021年度	4	2	0	0	0	0	0	0	6	3.0%
2022年度	4	3	0	0	1	0	0	0	8	4.5%
2023年度	7	3	0	0	0	0	0	0	10	5.7%
計	27	14	2	1	1	0	0	2	47	
退学率	8.0%	3.2%	13.3%	2.8%	2.9%	0.0%	0.0%	5.9%		

表 5-2. キャリア創造専攻（旧生活クリエイション専攻）の退学者数

選抜区分 入学年度	総合型 (旧 AO)	学校 推薦型 (指定校)	学校 推薦型 (一般)	併設校	同窓生 子女	資格	一般	社会人	計	退学率
2019年度	2	0	0	0	0	0	0	0	2	5.1%
2020年度	3	1	1	0	0	0	0	0	5	12.8%
2021年度	2	0	0	0	0	0	0	0	2	4.9%
2022年度	2	1	0	0	0	0	0	0	3	8.6%
2023年度	6	1	0	0	0	0	0	0	7	19.4%
計	15	3	1	0	0	0	0	0	19	
退学率	19.5%	4.1%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

表 5-3. こども発達専攻の退学者数

選抜区分 入学年度	総合型 (旧 AO)	学校 推薦型 (指定校)	学校 推薦型 (一般)	併設校	同窓生 子女	資格	一般	社会人	計	退学率
2019年度	1	0	1	0	0	0	入学者なし	1	3	4.6%
2020年度	1	0	0	0	0	0		0	1	1.4%
2021年度	0	1	0	0	0	0		0	1	1.7%
2022年度	0	1	0	0	0	0		0	1	1.5%
2023年度	0	1	0	0	0	0		0	1	1.9%
計	2	3	1	0	0	0		1	6	
退学率	1.5%	2.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%		16.7%		

表 5-4. ヘルスケア栄養学科の退学者数

選抜区分 入学年度	総合型 (旧 AO)	学校 推薦型 (指定校)	学校 推薦型 (一般)	併設校	同窓生 子女	資格	一般	社会人	計	退学率
2019年度	0	4	0	0	0	0	入学者なし	0	4	4.1%
2020年度	5	1	0	1	0	0		1	8	11.8%
2021年度	2	1	0	0	0	0		0	3	3.0%
2022年度	2	1	0	0	1	0		0	4	5.3%
2023年度	1	1	0	0	0	0		0	2	2.3%
計	10	8	0	1	1	0		1	20	
退学率	7.8%	3.4%	0.0%	16.7%	8.3%	0.0%		4.8%		

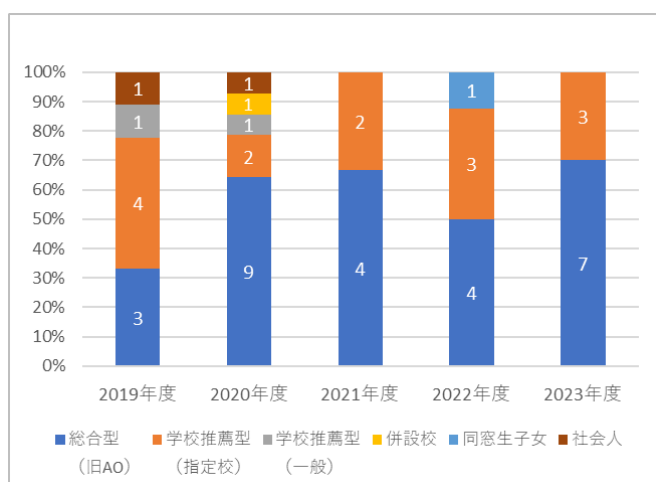


図 5-1. 過去 5 年間の退学者数と選抜区分

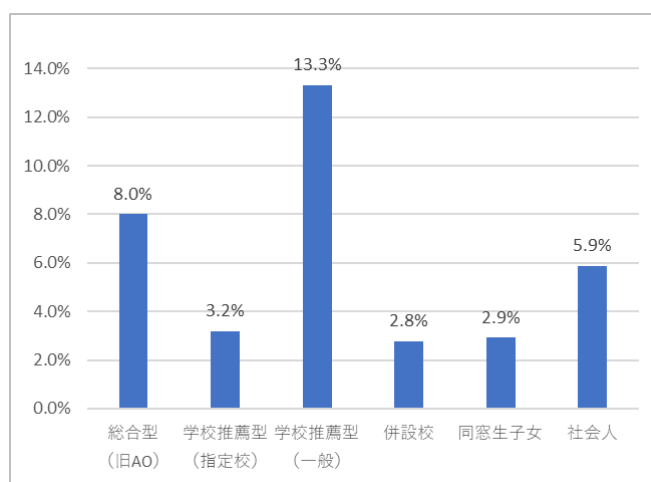


図 5-2. 過去 5 年間の選抜区分別の退学率

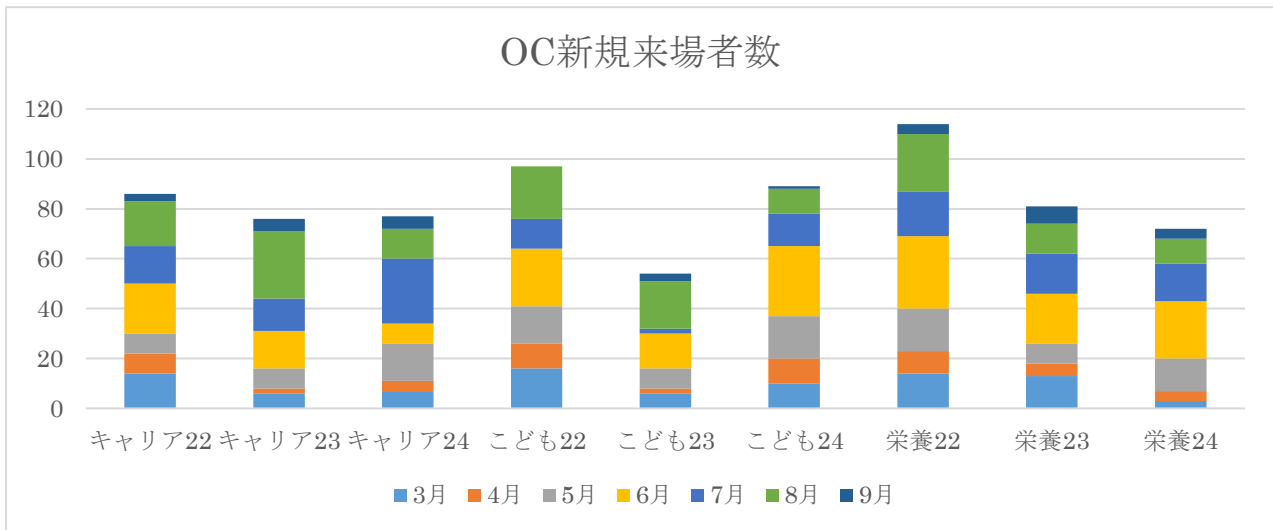
結論

2023年度入学生において、選抜区分におけるGPA平均値の違いについては、総合型選抜と学校推薦型選抜（指定校）との間に有意差は認められず、GPA平均値に差はない。

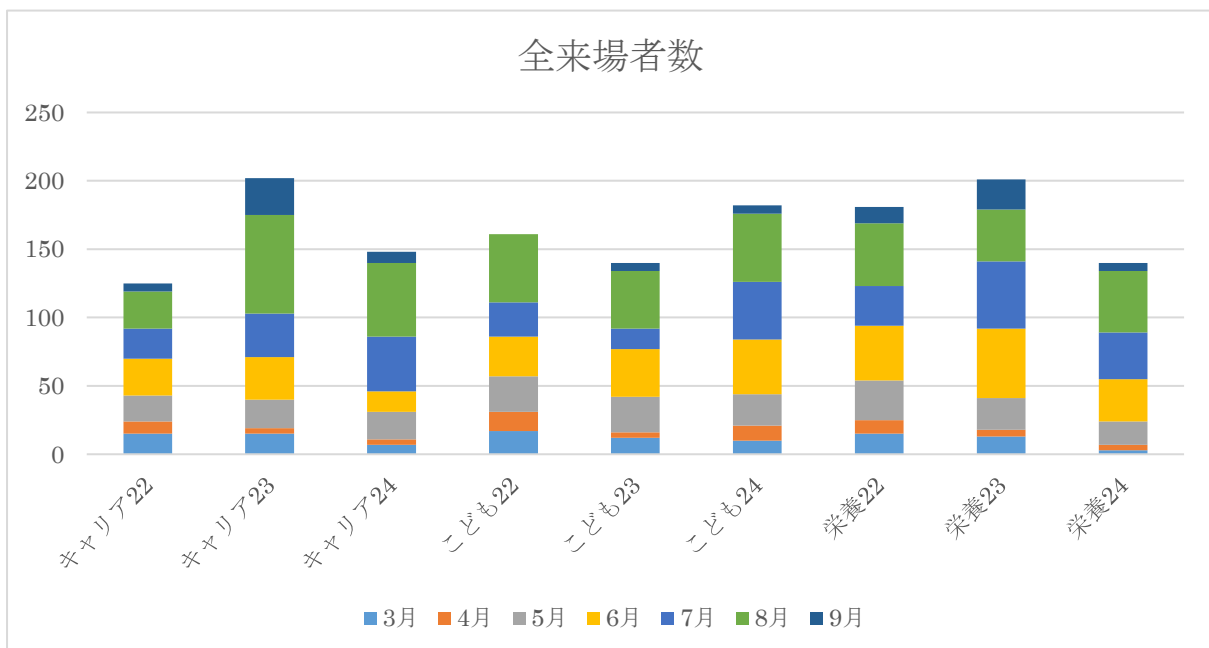
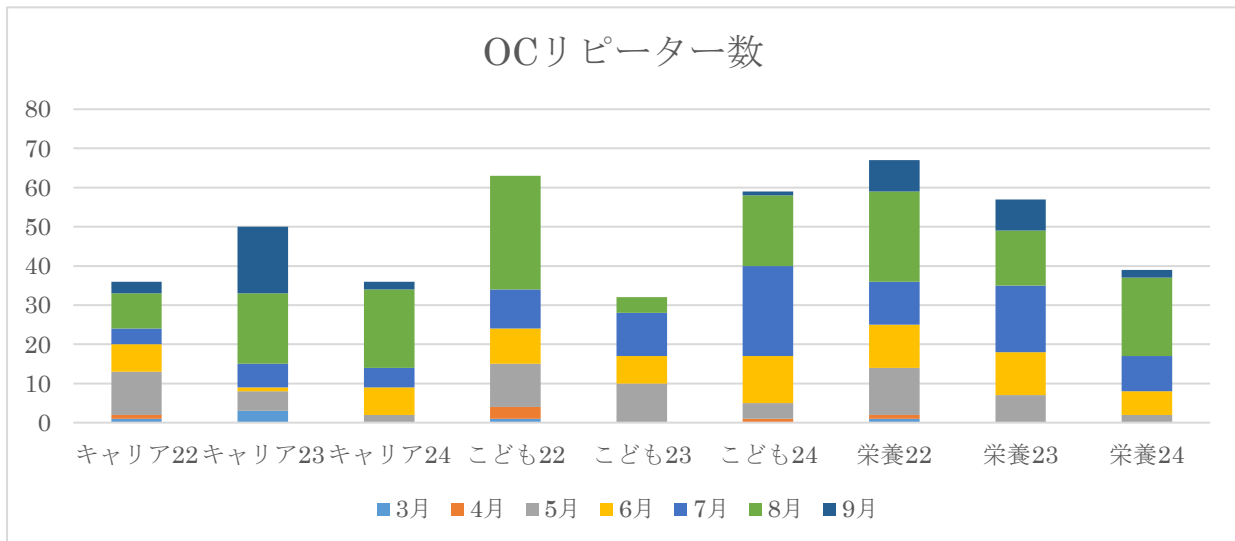
また、社会人選抜の平均値は、他の選抜試験に比べ有意に高く、積極的に社会人を受け入れることは全体の学力の底上げ・GPA向上に繋がるものと考えられる。評定平均値とGPAは、全体として相関が認められない。ただし、GPA上位学生のほとんどは高校の評定平均値が4.0を超えているので、平均的なレベルの高校の上位者については高校で培われた能力が、本学入学後さらに伸ばされていると判断される。選抜区分別の学修成果については、ほとんどの評価項目の平均が4を超えており、社会の求める人材を育成、輩出していることが外部評価（公立と併設校の高等学校長および企業）の報告からも裏付けられる。

以上、選抜方法の妥当性について検証を行った。その結果、多様な現在の選抜方法を継続し、広く入学生を獲得していくことが大学の存続・発展の為に不可欠であるといえる。

10. オープンキャンパス参加者



・昨年度と比較してキャリア創造専攻とヘルスケア栄養学科のリピーター数が少なかった。



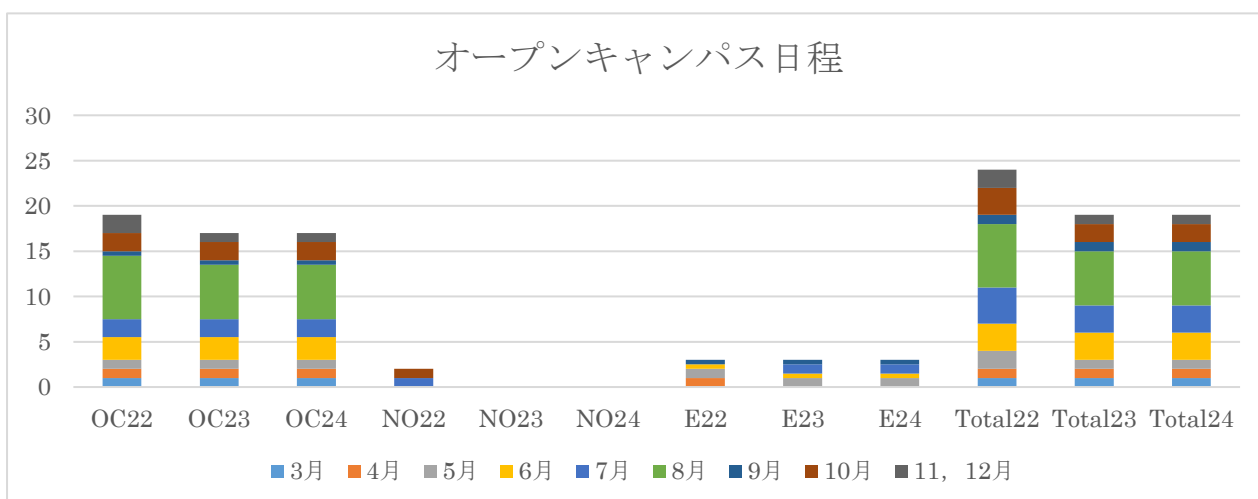
・こども発達の新規来場者とリピーター数が一昨年並みに回復した。

一般的にオープンキャンパス参加者の実人数（新規来場者数）に対して応募者は50%、またリピーターを含む延べ人数に対しては30%といわれている。いずれの学科・専攻も概ね標準に近い出願率を示している。2024年のヘルスケア栄養学科の出願率が低かった。

リピーターとして参加した生徒の出願率が高い。リピーターに対する対処の仕方は優れていて、初回よりも良い印象をもつ、または良いところが見つかっていると考えられる。すなわち、どうすればリピーターになってもらえるか、次回参加を促す方策が効果的である。

学科・専攻	新規参加者数			リピーター数		
	2022	2023	2024	2022	2023	2024
キャリア創造専攻	90	76	82	37	51	36
こども発達専攻	97	54	102	65	32	59
ヘルスケア栄養学科	114	79	83	67	57	40

学科・専攻	入学者数			入学率 (%)		
	2023	2024	2025	2023	2024	2025
キャリア創造専攻	36	38	35	38.9	47.3	42.7
こども発達専攻	56	28	53	52.6	51.8	52.1
ヘルスケア栄養学科	86	50	39	68.3	61.7	47.0



全体的にオープンキャンパスの日程が2023年度は少なかった。

1 1. 卒業生の就職先に関する調査

(1) 調査目的

昭和学院短期大学は「明敏謙讓」の建学の精神の下、各学科・専攻のアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを定め、学修成果の評価指数と到達目標を設定して科目ごとに身につける能力を示している。

卒業生が生きていく社会や生活の場は時代とともに変化するので、本学は常に世の中のニーズに則したカリキュラム編成を心がけてきた。卒業生が「明敏謙讓」を身につけた「幅広い職業人」として社会で生き活きと活躍できているか、就職先の調査を行い今後のキャリア教育、就職支援に役立てる。

(2) 方法

卒業生が就職した企業、事業所等への聞き取り

(3) 調査期間

2024年7月～2024年10月

(4) 調査内容

- ①職場において必要とされる能力、技術、資質等
- ②短期大学卒業時に身につけておいてほしい能力
- ③採用の際に重視すること

(5) 調査結果

別紙「卒業生の就職先調査 2024年度」参照。

[卒業生の就職先調査](#)

(5) 分析

職場において必要とされる能力、技術、資質等については、いずれの学科専攻でも「コミュニケーション力」が挙げられていた。また、素直さ、臨機応変な対応力、積極性、向上心、傾聴力を求めている。専門的な知識・技術として生活クリエイション専攻では着実性、学ぶ姿勢、情報収集力、こども発達専攻ではこども、保護者、保育士など相手を敬える心、こども第一主義の心、ヘルスケア栄養学科ではパソコンスキル、調理技術、献立作成能力、衛生管理の知識が挙げられた。

短期大学教育に望むこと、採用時に重視することに関しては、いずれの学科・専攻でも「コミュニケーション力」「責任感・使命感」「社会人基礎力」「将来展望」が挙げられていた。

本学の各学科・専攻の学修成果およびディプロマポリシーと一致しており、それらの妥当性が証明されているが、社会人基礎力の中身を時代の要請に合わせて精査していく必要がある。

1 2. 短期大学での学びと卒業後の状況に関する調査

本調査は、一般財団法人大学・短期大学基準協会の調査研究事業の一環として実施された。その中の本学卒業生の集計結果を抜粋して分析している。

(1) 目的

卒業生の卒業後の就業状況を把握すると共に、本学での学びとの関連を検証し今後のカリキュラム編成、教育方針などの策定に活かす。

(2) 調査対象者

2021年度卒業生の就職者全員 157名

(3) 実施時期

2024年7月～8月

(4) 調査方法

Web調査形式で回答

(5) 回答者数

36名、回答率 22.92% (昨年 40名回答率 21.27%)

(5) 結果

別紙。(2024年10月教育改革委員会)

[2021年度卒業生調査結果](#)

(6) 考察

- ・本学に対しては90%の学生が総合的な評価としてよかったと回答している。
- ・先生に対しても学びについても90%の卒業生がよかったと回答している。
- ・役に立った内容としては専門的な知識、他者と協力する力、コミュニケーション力の評価が高く、選挙への関心、外国語、プレゼンテーション力が低かった。
- ・「母校を人にすすめられるか」の問いにたいしては60%がすすめられる、28%がやや勧められるとおおよそ90%の卒業生がすすめられると回答していて、昨年度より高くなった。
- ・ほとんどの学生が免許・資格を活用している。
- ・70%の卒業生が卒業直後と同じ職場であるが、30%の学生は転職をしている。
- ・100%の卒業生が短期大学で学んでよかったことがあると答えている。

以上昨年より良い結果が得られている。

II. 学生生活

1. オフィスアワー調査

メールで希望日を調査し、短期大学共有フォルダーに提出。

本学では学生と教員との距離が近く、日常的に質問・相談が行える体制になっていることから、オフィスアワーの意義は薄い。

2024 年前期オフィスアワー

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9:10 ～ 10:40	馬場 千晶		菅沼 恵子		
10:50 ～ 12:20	片桐 恵子 山中 珠美	伊坪 有紀子 小川 弓美子	板垣 昌子 渡邊 隆子 飛松 聡	阿久津 毅 古野 愛子	佐野 典行
13:05 ～ 14:35	本蔵 達矢	宇杉 美絵子		栗岡 優希	白岩 等
14:45 ～ 16:15	川田 江美	松原 雅俊 加藤 智樹		島本 和恵	守田 麻由子
16:15 ～					

2024 年後期オフィスアワー

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9:10 ～ 10:40	古野 愛子	白岩 等 山中 珠美	菅沼 恵子 栗岡 優希		松原 雅俊 佐野 典行
10:50 ～ 12:20	伊坪 有紀子 片桐 恵子	板垣 昌子 小川 弓美子	宇杉 美絵子 本蔵 達矢	飛松 聡	馬場 千晶
13:05 ～ 14:35	阿久津 毅		渡邊 隆子	守田 麻由子	
14:45 ～ 16:15	川田 江美			島本 和恵	
16:15 ～	加藤 智樹				

2. 休学・留年・退学の要因分析

(1) 休学

休学者数

学科・専攻	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
生活クリエイション専攻 キャリア創造専攻	0	2	0	0	4
こども発達専攻	0	0	0	0	0
ヘルスケア栄養学科	0	0	0	0	0
計	0	2	0	0	4

(2) 留年

留年者数

学科・専攻	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
生活クリエイション専攻 キャリア創造専攻	0	0	0	0	0
こども発達専攻	1	0	1	0	2
ヘルスケア栄養学科	1	0	0	0	0
計	2	0	1	0	2

本人の基礎学力不足と精神的に不安定であったことによる必修単位不足。

(3) 退学

退学者数

学科・専攻	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
生活クリエイション専攻 キャリア創造専攻	5	2	2	5	5
こども発達専攻	2	1	1	1	4
ヘルスケア栄養学科	6	4	4	3	3
計	13	7	7	9	12

*：除籍者を含む

退学者数の在籍学生数に対する割合（％）

学科・専攻	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
生活クリエイション専攻 キャリア創造専攻	6.5	2.6	2.7	7.1	7.0
こども発達専攻	1.5	0.8	0.8	0.8	4.7
ヘルスケア栄養学科	3.7	2.5	2.3	1.9	2.2
短期大学全体	3.5	2.0	1.9	2.8	4.1

退学の割合は短期大学全体として年々減少してきているが、2024年度は上昇した。

2024年度の退学の理由

退学の理由	キャリア創造専攻	こども発達専攻	ヘルスケア 栄養学科	計
進路変更	2	1	1	4
経済的理由				
病気（体調不良含む）	0	1		1
就学意欲の低下	2	2		4
結婚・出産				
その他	1		2	3
計	5	4	3	12

退学理由としては進路変更と就学意欲の低下が多い。

3. 施設・設備の利用状況

(1) 図書館

	学生	学生前年度比	教職員
入館者数	3,073 人	18%減少	317 人
貸出総点数	651 点	51%減少	314 点
うち実習貸出点数	508 点	3%増加	—
レファレンス件数	38 件	245%増加	25 件

入館者数は昨年が続いて減少した。

貸し出し点数は、コロナウイルスの影響を受けてしばらく増えていたが、2024年度はその影響が全くなかったためか大きく減少した。入館者数は対在学生数の比較ではほぼ昨年度と同様であった。

レファレンス件数は昨年が続いてアップした。

(2) 特別館（コンピュータ室、メディア室、視聴覚室）

コンピュータ室 授業稼働率 74.0%（各授業のコンピュータの準備等で1コマ使うと仮定する。）

メディア室 授業稼働率 55.0%（各授業のコンピュータの準備等で1コマ使うと仮定する。）

視聴覚室 授業稼働率 35.0%（各授業の視聴覚設備の準備等で1コマ使うと仮定する。）

コンピュータ関連授業が増えている関係で稼働率は大きく上がっている。また、コンピュータ室とメディア室については授業の無いときに学生が自分たちの空き時間を利用して課題や就職活動等で使っている。上記の稼働率は授業限定である。

(3) 体育館

授業稼働率 40%（1コマ分の準備を入れる。）

本学の部活、昭和学院中学・高等学校のバスケット部、ダンス部などが使用した。

(4) 学生食堂及び学生ホール等

- ・食堂メニューの値上げについて、値上げ分は本学で負担している。
- ・就職課応接室をリメイクして面談室に改修した設備が学生の就職活動におけるオンライン面接等にも活用され、好評である。

Ⅲ. 研修

1. FD・SD活動のまとめと成果報告書の管理

(1) FD活動

別紙FD活動報告書（FD委員会）

以下のFD活動を実施した。

日 時	場 所	タイトル
2024年4月1日	会議室 Web 会議	教職員向けセキュリティ診断研修会 講師：阿久津先生
2024年5月8日	多目的室Ⅱ	電子黒板の使い方 講師：リコージャパンスタッフ
2024年8月3日	Web 会議	大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム 2024年度第1回共同FD・SD研修会 数理・データサイエンス・AI教育の取り組み 講師：東京医科歯科大学統合教育機構 教養教育部門教授 中林潤先生 共同研究報告 「共生のための文化芸術プログラム」 研究代表者 和洋女子大学人文学部准教授 小野真嗣
2024年9月10日～9月17日	オンデマンド	大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム 2024年度第2回共同FD・SD研修会 卒業時の平均学生満足度～各大学の状況とその要因～ 講師：昭和学院短期大学 IR 室 長内恭子 東京経営短期大学経営総合学科教授（IR 担当）衣川功一 和洋女子大学教育支援課長・IR 室長補佐 藤田直樹 学校法人千葉学園 経営企画室主任（IR 担当）伊藤佑樹

(2) SD活動

別紙SD活動報告書

以下のSD活動を実施した。

回	日 時	タイトル
第1回	2024年5月8日	電子黒板の使い方 講師：リコージャパンスタッフ
第2回	2024年8月3日	大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム 2024年度第1回共同FD・SD研修会 数理・データサイエンス・AI教育の取り組み 講師：東京医科歯科大学統合教育機構 教養教育部門教授 中林潤先生 共同研究報告 「共生のための文化芸術プログラム」

		研究代表者 和洋女子大学人文学部准教授 小野真嗣
第3回	2024年9月10日～ 9月17日	大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム 2024年度第2回共同FD・SD研修会 卒業時の平均学生満足度～各大学の状況とその要因～ 講師：昭和学院短期大学 IR室 長内恭子 東京経営短期大学経営総合学科教授（IR担当）衣川功一 和洋女子大学教育支援課長・IR室長補佐 藤田直樹 学校法人千葉学園 経営企画室主任（IR担当）伊藤佑樹

IV. 公表情報

1. 自己点検評価報告書に必要なデータの収集・確認

別冊 2024年度（令和6年度） 昭和学院短期大学自己点検・評価報告書

[https://www.showagakuin.ac.jp/web/wp-](https://www.showagakuin.ac.jp/web/wp-content/uploads/2025/07/06f600b7e2f8283db8d3fdacb3da0002.pdf)

[content/uploads/2025/07/06f600b7e2f8283db8d3fdacb3da0002.pdf](https://www.showagakuin.ac.jp/web/wp-content/uploads/2025/07/06f600b7e2f8283db8d3fdacb3da0002.pdf)

報告書 p1～60

2. 大学ポートレートに必要なデータの収集と公表

- 令和6（2024）年5月1日現在

① 教育情報の公表について

No.	事項	公表方法等
1	大学の教育研究上の目的に関する事	https://www.showagakuin.ac.jp/outline/history/
2	卒業認定・学位授与の方針	https://www.showagakuin.ac.jp/outline/history/
3	教育課程編成・実施の方針	https://www.showagakuin.ac.jp/outline/history/
4	入学者受入れの方針	https://www.showagakuin.ac.jp/outline/history/
5	教育研究上の基本組織に関する事	https://www.showagakuin.ac.jp/outline/8010-2/
6	教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関する事	<p>【教員組織、教員数】 https://www.showagakuin.ac.jp/outline/8010-2/ 【各教員が有する学位及び業績に関する事】 https://www.showagakuin.ac.jp/outline/8021-2-1seikatu/ https://www.showagakuin.ac.jp/outline/8021-2-2kodomu/ https://www.showagakuin.ac.jp/outline/8021-2-2healthcare/</p>
7	入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事	https://www.showagakuin.ac.jp/outline/8022-2/
8	授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関する事	<p>https://www.showagakuin.ac.jp/outline/8023-2/ https://www.showagakuin.ac.jp/outline/zaigakusei/</p>

9	学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関する事	https://www.showagakuin.ac.jp/outline/8024-2/
10	校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関する事	https://www.showagakuin.ac.jp/outline/8010-2/
11	授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関する事	https://www.showagakuin.ac.jp/entrance/gakuhi/
12	大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関する事	https://www.showagakuin.ac.jp/outline/8025-2/

② 学校法人の情報の公表・公開について

事 項	公 表・公 開 方 法 等
寄附行為、監査報告書、財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、役員名簿、役員に対する報酬等の支給の基準	<p>【学校法人昭和学院 寄附行為】 kifukoui2020.pdf (showa-gkn.ed.jp)</p> <p>【監査報告書、財産目録、貸借対照表、収支計算書】 R6_監事-監査報告書.pdf 令和6年度 財務情報.pdf</p> <p>【事業計画書・事業報告書】 事業計画令和6年度.pdf 事業報告書令和6年度.pdf</p> <p>【学校法人昭和学院 役員名簿】 令和6年度学校法人昭和学院役員名簿・評議員名簿-1.pdf 【学校法人昭和学院 役員報酬規程】 役員報酬規程 (showa-gkn.ed.jp)</p>

V. その他

1. 昭和学院短期大学中期計画進捗状況報告

別冊：中期計画書 実施状況令和6年度

別紙：短期大学中期計画点検評価2024年度

短期大学及び各学科・専攻の平均値（ ）内は2023年度

短期大学 4.2 (4.3)

キャリア創造専攻 4.6 (4.9)

こども発達専攻 4.9 (4.8)

ヘルスケア栄養学科 4.4 (4.6)

2. いちかわ市民アカデミー講座及び

大学コンソーシアム産官学連携プラットフォーム昭和学院短期大学公開講座

別紙「令和6年度 いちかわ市民アカデミー講座」

いちかわ市民アカデミー講座は、9月～2月までの3回開催となった。本学は定員40名、「健康長寿をめざして」をテーマに実施した。第1回9月14日（土）「心が通い合う「私」と「あなた」の関係」（片桐恵子）、第2回10月12日（土）「作って健康、かんたん調理法」（島本和恵）、第3回11月9日（土）「健康な体をつくるたんぱく質」（飛松聡）

昭和学院短期大学公開講座は大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム昭和学院短期大学公開講座として2回実施した。12月7日「新世界に根付いたワインたちの今 vol.1」（中田玲子）、1月18日（土）「新世界に根付いたワインたちの今 vol.2」（中田玲子）

・各講座とも良好な評価を得た。

3. 規程の整備

別冊 昭和学院短期大学規程集2024年度